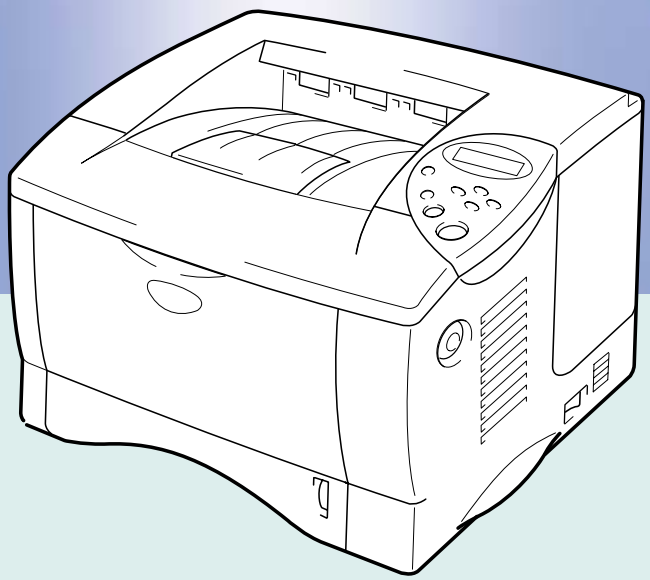
SPEEDIA

CP-B200

取扱説明書



プリンタを設置・操作する前によくお読みください。
また、ご使用中もお手元に置いてご活用ください。

CASIO®

T-675P-1
MA0207-A

安全に正しくお使いいただくために

このたびはCP-B200をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書は、CP-B200の操作方法について記載しています。

はじめに、製品に同梱されている「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。

製品の設置方法、プリンタドライバ、アプリケーションのインストールについては、同梱の「クイックセットアップガイド」、「Windows　ドライバインストールガイド」をお読みください。

製品の性能を十分にご利用いただくために、製品をお使いになる前に、本書をお読みください。

本書は紛失しないように注意し、いつでも参照できるように保管してください。

本書では、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、次のような安全表示をおこなっています。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があるということを示しています。

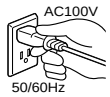
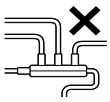
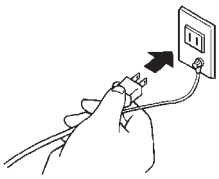
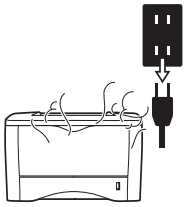
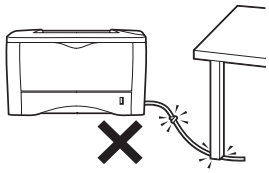
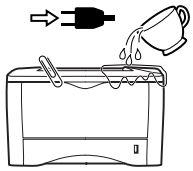
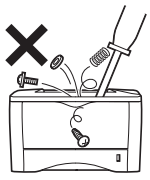
注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うおそれがある内容および製品への損害のおそれがあるということを示しています。

注

製品をお使いいただく上で、お客様に役に立つ情報です。

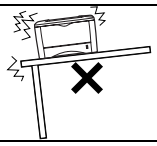
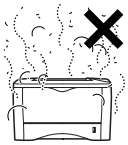
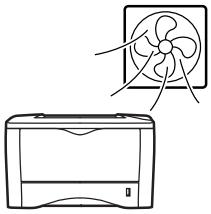
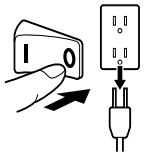
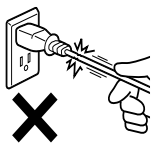
安全上のご注意

⚠ 警告	
電源は必ず、AC100V、50Hzまたは60Hzで使用してください。 それ以外の電源を使用すると、火災、感電のおそれがあります。	
タコ足配線をしないでください。 火災、感電のおそれがあります。	
アース接続してください。 電源コードのアース線をコンセントのアース端子に確実に接続してください。 アース接続がされないで万一漏電した場合、火災、感電のおそれがあります。	
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電のおそれがあります。	
発熱している、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用しないでください。 火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、製品をお買い求めの販売店またはお近くのサービスステーションにご相談ください。	
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っぱったり無理に曲げたりしないでください。 電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。	
異物や水などの液体がプリンタの内部に入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売会社にご相談ください。 そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。	
輸送用のビニール袋をかぶったりして遊ばないでください。 窒息するおそれがあります。特に小さなお子さまの手には届かないように注意してください。	
（本書で指示されている以外の）プリンタの分解や改造はしないでください。 火災、感電、レーザー光線への被爆、レーザー光線漏れによる失明のおそれがあります。内部の点検・調整・修理は製品をお買い求めの販売店またはお近くのサービスステーションにご依頼ください。	

⚠ 警告

プリンタやドラムユニット・トナーカートリッジは、小さなお子さまの手の届かない場所に設置・保管してください。	

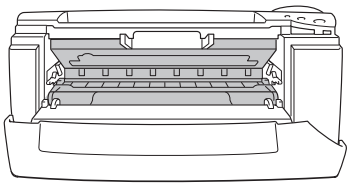
❗ 注意

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所にプリンタを置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。	
湿気やほこりの多い場所にプリンタを置かないでください。 火災、感電の原因となることがあります。	
せまい部屋で長時間使用するときは、換気に注意してください。 プリンタの排気が直接人に当たらないように設置してください。気分が悪くなることがあります。また、カーテンや衣類に長期間排気が当たらないようにしてください。汚れ（シミ）が付くことがあります。	
プリンタのクリーニングをするときは、必ず電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。	
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。（必ず電源プラグを持って抜いてください。）	

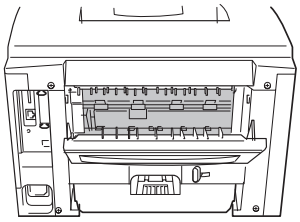
連休などで、長期間プリンタをご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。

警告

プリンタの使用直後は、プリンタ内部が高温になっています。フロントカバーや背面排紙トレイを開ける際には、下図のグレーの部分には絶対に手を触れないでください。



前面図



背面図

プリンタ内部には、電圧の高いものがあります。プリンタのクリーニングをするときは、必ず電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。

注意

クリーニングには水か中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンなどの揮発性液体を使用すると、プリンタの表面が損傷を受けます。アンモニアを含有するクリーニング材料を使用しないでください。プリンタとトナーカートリッジが損傷を受けます。

目次

安全に正しくお使いいただくために i
安全上のご注意 ii
目次 v

第1章 はじめに

プリンタと付属品 1-1

同梱物 1-1
全体的な外観 1-3

プリンタの設置 1-5

電源 1-5
環境 1-6

使用できる用紙について 1-7

印刷用紙と寸法 1-7
推奨用紙 1-9
用紙カセットからの印刷 1-12
マルチパーパストレイからの印刷 1-15
背面排紙トレイへの印刷 1-18
封筒の印刷 1-20
ラベル紙やOHP用紙などへの印刷 1-24
両面印刷 1-29
小冊子印刷 1-32
手差し印刷 1-34

第２章 ドライバとソフトウェア

プリンタドライバ 2-1

プリンタドライバのインストール 2-2
プリンタドライバおよびアプリケーションのアンインストール.....2-2
Windowsプリンタドライバの特長 2-3
Windows用ユーティリティソフトウェア 2-13

自動インタフェース選択 2-14

第３章 コントロールパネル

キー名称 3-1

Goキー 3-3
Job Cancel（ジョブキャンセル）キー 3-3
Reprint（再印刷）キー 3-4
Menu (+ / – / Set / Back)キー 3-10
コントロールパネルの使い方の例 3-12

LED 3-13

LCDディスプレイ 3-14

バックライト.....3-14
コントロールパネルの設定メニュー.....3-16
デフォルト設定 3-25

第４章　オプション

オプションの種類 4-1

オプションの購入方法 4-1

ネットワークボード 4-2

ネットワークボードの取り付け方 4-2

第５章　日常のメンテナンス

消耗品の種類 5-1

プリンタを清掃する 5-12

定期保守部品について 5-19

第６章　トラブルシューティング

LCDのメッセージ 6-1

エラーメッセージ 6-1

保守メッセージ 6-4

サービスコールメッセージ 6-5

トレイ1の紙づまり 6-7

MPトレイの紙づまり 6-9

内部の紙づまり 6-10

後部の紙づまり 6-12

両面印刷ユニットの紙づまり 6-16

紙づまり 6-19

印字品質問題の解決方法 6-23

その他の問題 6-29

付録

プリンタ仕様 付録-1
お問い合わせ先 付録-5
お問い合わせ窓口 付録-6
保証について 付録-9
規格 付録-10

索引

索引-1

第1章
はじめに

プリンタと付属品

同梱物

プリンタを箱から取り出したら、最初に以下の同梱物がすべてそろっているかを確認してください。

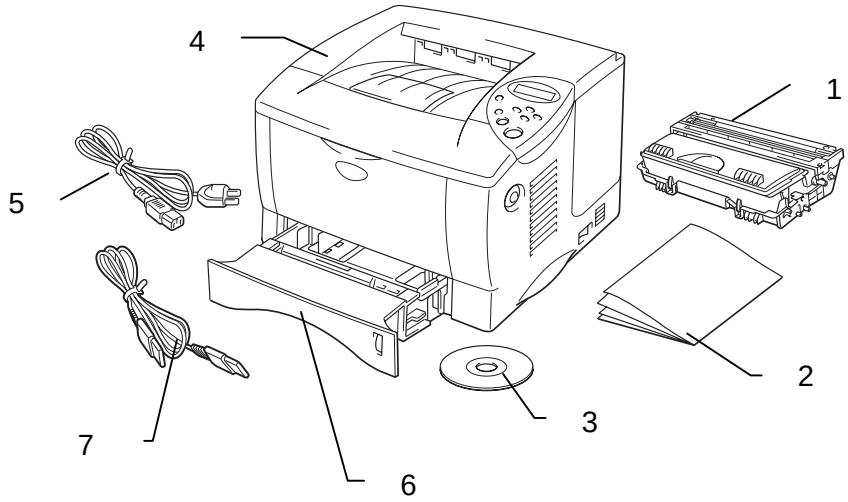


図 1-1

1. ドラムユニット（トナーカートリッジ含む）
2. クイックセットアップガイド、Windows ドライバインストールガイド、その他印刷物
3. CD-ROM
4. プリンタ本体
5. 電源コード
6. 本体用紙カセット
7. USB ケーブル

注

- **パラレルインタフェースをご使用になる場合には、本プリンタの機能を最大限に引き出すため、IEEE1284 のパラレルケーブルをお使いいただくことをおすすめします。**
- **大部分のパラレルケーブルは双方向通信に対応していますが、ピン数・配列の異なるケーブルもありますので、ご注意ください。**
- **2.5 メートルを超えるパラレルケーブルは使用しないでください。**
- **市販の USB ケーブルをご使用になられる場合、12MB(フルスピード)、ツイストペアケーブル、シールドタイプの仕様をサポートするものをおすすめしています。**

全体的な外観

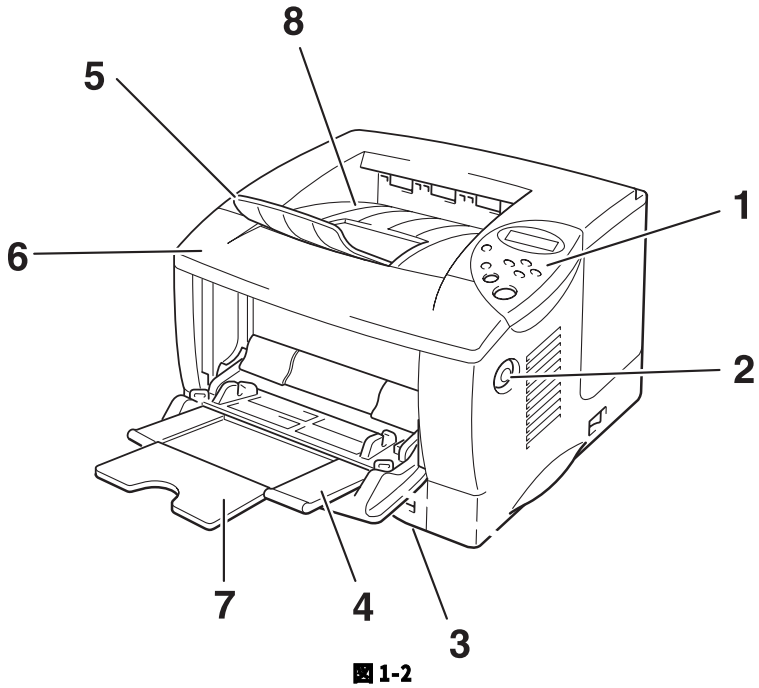


図 1-2

1　　上部排紙トレイ
2　　コントロールパネル
3　　マルチパーパストレイ（MP トレイ）
4　　カバーオープンボタン
5　　本体用紙カセット
6　　フロントカバー
7　　排紙フラップ
8　　マルチパーパストレイサポート

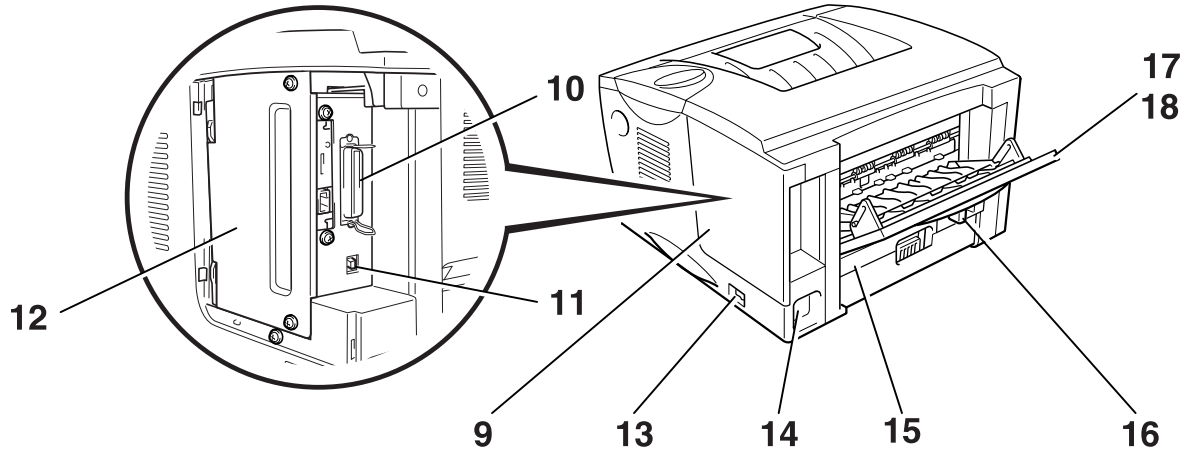


図 1-3

9	インタフェースカバー
10	基板プレート
11	パラレルポート
12	ＵＳＢポート
13	電源スイッチ
14	電源コード差し込み用インレット
15	背面排紙トレイ
16	両面印刷用紙サイズレバー
17	両面印刷ユニット

プリンタの設置

プリンタを使用する前に以下の点にご注意ください。

電源

プリンタは規定された電源の範囲で使用してください。

AC 電源　：　AC 100V
周波数　：　50/60 Hz
消費電力：　410W 以下

電源コードは、延長コードを使用する場合を含めて、5 メートルを超えないようにしてください。

とくにエアコン、コピー機、シュレッダーなど、高電力機器と同じ回路でプリンタを使用しないでください。 どうしてもこれらの機器と同じ回路でプリンタを使用することが避けられない場合には、高周波ノイズフィルタを使用することをおすすめします。

環境

プリンタは以下の温度範囲および湿度範囲で使用してください。

周辺温度： 10°C～32.5°C
周辺湿度： 20%～80%（結露がないこと）

プリンタ上部にある通気孔をふさがないでください。 プリンタの上、とくに通気孔の上に物を置かないでください。

プリンタを使用する部屋は換気を良くしてください。

プリンタに直射日光が当たる場所には置かないでください。 やむを得ず窓の近くにプリンタを置く場合は、直射日光からプリンタを守るようにブラインドやカーテンを引いてください。

磁気製品の近くにはプリンタを置かないでください。

プリンタに強い衝撃や振動を与えないでください。

火気や塩分、腐食性ガスのある場所にプリンタを置かないでください。

プリンタは平らな面に水平に置いてください。

プリンタは清潔な状態で使用してください。 ほこりの多い場所には置かないでください。 エアコンの近くにプリンタを置かないでください。

プリンタの通気孔をふさぐようにプリンタを置かないでください。
通気孔と壁は、10㎝ 以上離してください。

使用できる用紙について

印刷用紙と寸法

プリンタは、マルチパーパストレイ、または、本体用紙トレイから用紙を給紙します。

LCD パネル上では用紙トレイを下記の名称で表示しています。

本体用紙トレイ	トレイ１
マルチパーパストレイ	ＭＰトレイ
手差し	テサシ

用紙の種類	*トレイ 1*	*MP トレイ*	*両面印刷*	*プリンタドライバで用紙の種類を選択*
普通紙	✓	✓	✓	普通紙 または 普通紙(厚口)
再生紙	✓	✓	✓	普通紙 または 普通紙(厚口)
厚紙		✓		厚紙（ハガキ）または 超厚紙
OHP 用紙	✓ 最大 10 枚	✓ A4 のみ		OHP
ラベル		✓ A4 のみ		普通紙 または 普通紙(厚口)
封筒		✓		封筒、封筒(薄め)または封筒(厚め)
はがき	✓	✓		厚紙（ハガキ）または 超厚紙

	トレイ1	*MP トレイ*	*両面印刷*
用紙サイズ	レター、リーガル A4、B5、A5、ハガキ	レター、リーガル、A4、B5、A5、 ハガキ、洋形 4 号封筒、バイブルサイズ、洋形定形最大封筒、ユーザー定義サイズ（幅：70～216 mm、長さ：116～356 mm）	レター、リーガル、A4
容量	250 枚（80 g/㎡）	100 枚（80 g/㎡） リーガル： 30 枚 ラベル： 10 枚	

各用紙媒体に対して以下の排紙トレイを使用することをおすすめします。

用紙の種類	*上部排紙トレイに排出*	*背面排紙トレイに排出*	*注*
普通紙	✓	✓	60 g/㎡～105 g/㎡
厚紙		✓	105 g/㎡～161 g/㎡
再生紙	✓	✓	
OHP 用紙	✓		OHP フィルム
ラベル		✓	
封筒		✓	
はがき		✓	

用紙の給紙方法の優先順位は、コントロールパネルにて設定することができます。用紙設定についての詳細は第３章をご参照ください。

推奨用紙

用紙の種類	推奨紙
普通紙	富士ゼロックスオフィスサプライ P 紙 (64g/㎡) NBS リコー マイペーパ(64g/㎡) 富士ゼロックスオフィスサプライ L 紙 (64g/㎡)
再生紙	富士ゼロックスオフィスサプライ グリーン 100 紙 (64 g/㎡)
封筒	ライフＥ５０５，Ｅ５０６
0HP 用紙	住友 3M CG3300(t 0.1)
ラベル	エーワンレーザーラベル 28352

- 大量の用紙を購入する前に、必ず小部数を印刷し、用紙が適切であることを確認してください。
- 普通紙コピー用の用紙をご使用ください。
- 用紙坪量は 60～105 g/㎡までのものをご使用ください。
- 用紙は中性紙を使用してください。
- 酸性紙は使用しないでください。
- 給紙方向に対して縦目の用紙をご使用ください。
- 用紙の水分は約 5%のものをご使用ください。

はがきに印刷するときは、無地の官製はがきをご使用下さい。
下記のようなはがきはご使用にならないで下さい。

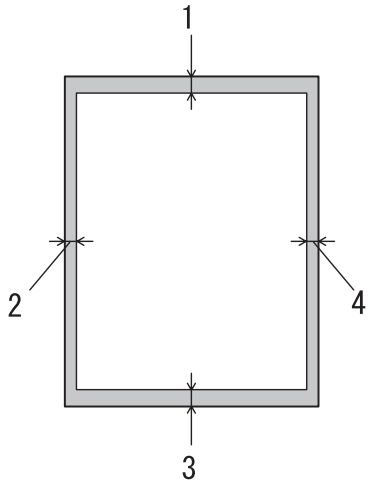
- **一度印刷されたはがき**
- **プリンタの印刷可能用紙坪量指定を超える用紙で作られているはがき（厚すぎたり薄すぎたりするはがきはご使用にならないで下さい）**
- **角が直角でないはがき**
- **破れ、反り、しわ、折り目のあるはがき**
- **極端に目の粗い用紙で作られたはがき（和紙やキャンバス地など）**
- **コートやつやだしなど特殊加工のされた用紙（インクジェット専用紙など）で作られたはがき**
- **ミシン目が入ったはがき**
- **往復はがき**
- **規格外のはがき**

以上にあげた種類のはがきを使用すると、プリンタが故障する可能性があります。この場合の故障は保証あるいはサービス契約の対象には含まれませんのでご注意下さい。

❖ 印刷可能領域

下図は印刷可能領域を示します。

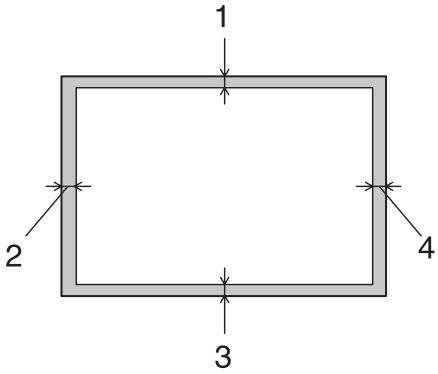
縦方向



1	4.2 mm
2	6.01 mm
3	4.2 mm
4	6.01 mm

図 1-4

横方向



1	4.2 mm
2	5.0 mm
3	4.2 mm
4	5.0 mm

図 1-5

用紙カセットからの印刷

☛ 1. プリンタから本体用紙カセットを引き出します。

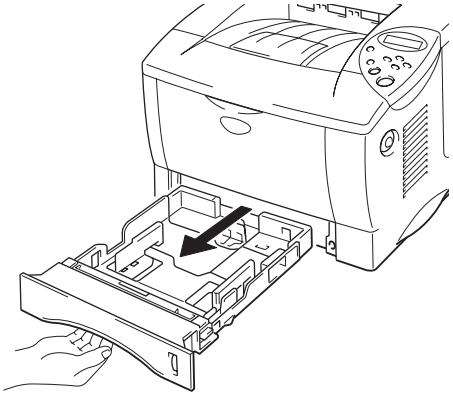


図 1-6

☛ 2. ペーパーガイドレバーをつまみながら、スライドさせて用紙のサイズに合わせます。 ペーパーガイドがセットする用紙サイズの溝にはまっていることを確認してください。

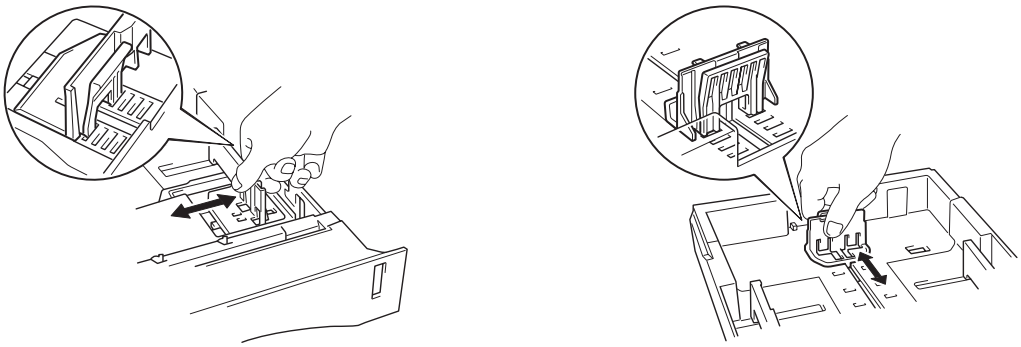


図 1-7

＜リーガル用紙をご使用の場合＞

ユニバーサルガイドリリースレバーを押しながら、用紙カセット後部を引き出します。

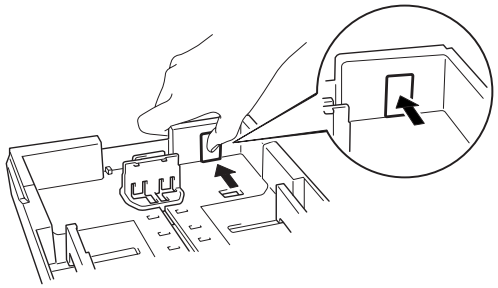


図 1-8

☛ 3.　本体用紙カセットに用紙をセットします。 セットされた用紙が ▼ マークより下になっていること、また用紙が平らになっていることを確認してください。

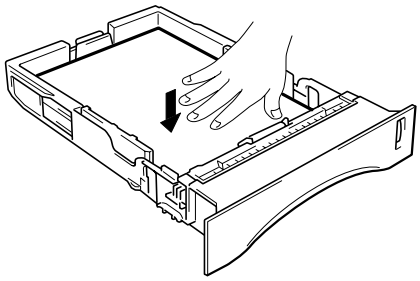
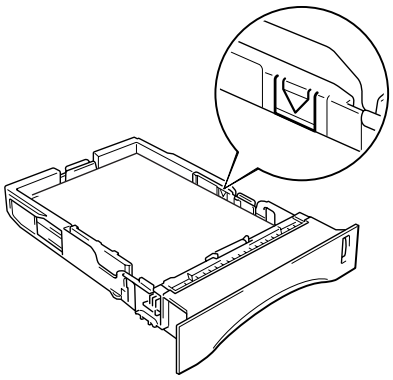


図 1-9

注

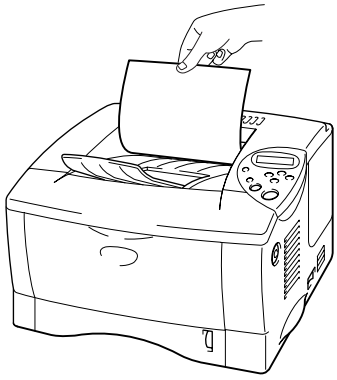
用紙カセットに紙を 250 枚（80 g/㎡）以上入れないでください。 紙づまりが起こる可能性があります。 用紙は ▼ マークまで入れることができます。



☛ **4.** 用紙カセットをプリンタの奥まですみやかに入れます。

注

- 印刷された用紙が上部排紙トレイから滑り落ちないように排紙フラップを伸ばします。
- 排紙フラップを伸ばさない場合には、プリンタから排出された用紙はすぐに上部排紙トレイから取り除くことをおすすめします。



☛ **5.** プリンタドライバにて用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法を設定します。

マルチパーパストレイからの印刷

注

- 印刷を正しく行うためには、アプリケーションソフトウェアでの用紙サイズの設定とトレイにセットされた用紙のサイズを同じにする必要があります。
- アプリケーションソフトウェアのプリントメニューで、印刷する用紙サイズがサポートされていない場合には、コントロールパネルにて用紙サイズを変更できます。 詳細は、第３章をご参照ください。

☛ 1.　マルチパーパストレイを開きます。

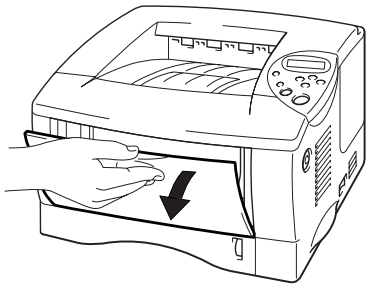


図 1-10

☛ 2.　マルチパーパストレイサポートを伸ばします。

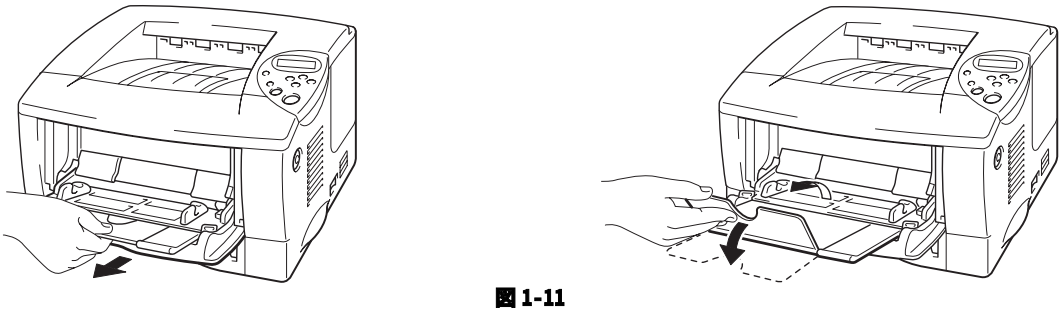


図 1-11

☛ 3. マルチパーパストレイに用紙をセットします。 この場合、用紙がトレイの奥にしっかり触っていること、また ▼ マーク以下でセットされていることを確認してください。

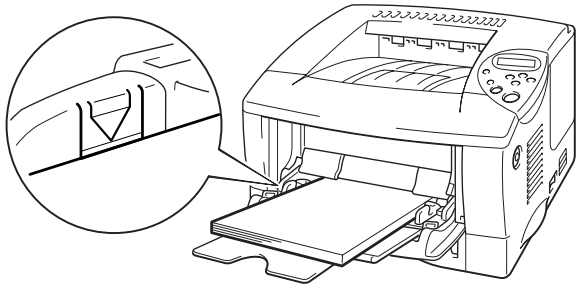


図 1-12

注

マルチパーパストレイに用紙をセットするときには、以下の点にご注意ください。

- 用紙坪量が 135 g/㎡ 以上の用紙に印刷する場合には、背面排紙トレイを使用してください。
- トレイに用紙をセットするときには、最初に先端部を入れ、次に全体を静かに奥に押しこみながらセットしてください。
- すでに片面が印刷された用紙の裏面に印刷する場合には、印刷する面（白紙）を上向きにし、用紙をマルチパーパストレイの奥までしっかりセットしてください。

☛ **4.**　ペーパーガイドをつまみながらスライドさせ、用紙サイズに合わせます。

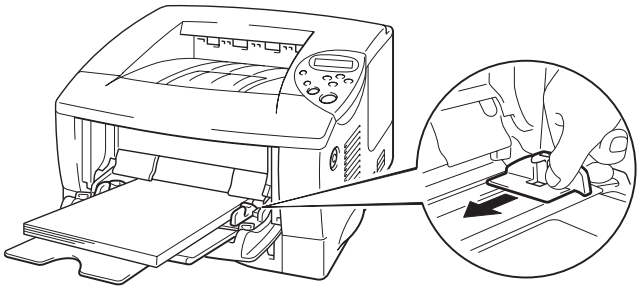


図 1-13

注

- 用紙が正しくセットされていないと、給紙が正しく行われないため斜めに印刷されたり、紙づまりが起こったりすることがあります。

☛ **5.**　プリンタドライバにて用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法を設定します。

背面排紙トレイへの印刷

背面排紙トレイが開かれているとき、プリンタの用紙経路はマルチパーパストレイからプリンタの後部までまっすぐになっています。 この排紙方法は、厚紙や、ラベル紙、はがきや封筒その他の用紙の場合など、用紙をまっすぐ排紙したい場合に使用してください。

注

OHP 用紙に印刷する場合には、上部排紙トレイを使用してください。

☛ 1. 背面排紙トレイを開きます。

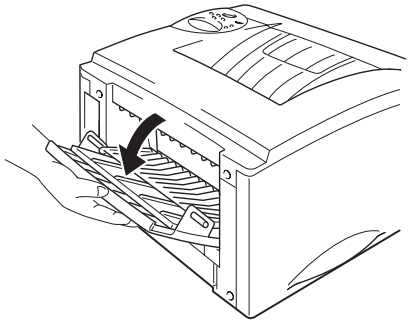


図 1-14

☛ 2. 背面排紙トレイサポートを伸ばします。

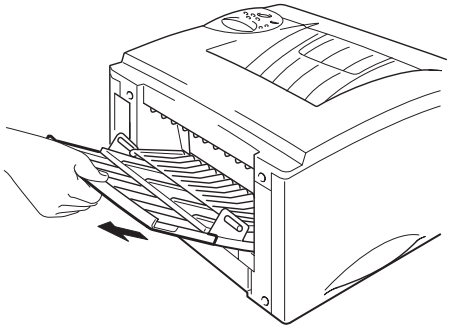


図 1-15

☛ 3.　本体用紙カセットまたはマルチパーパストレイに用紙をセットします。

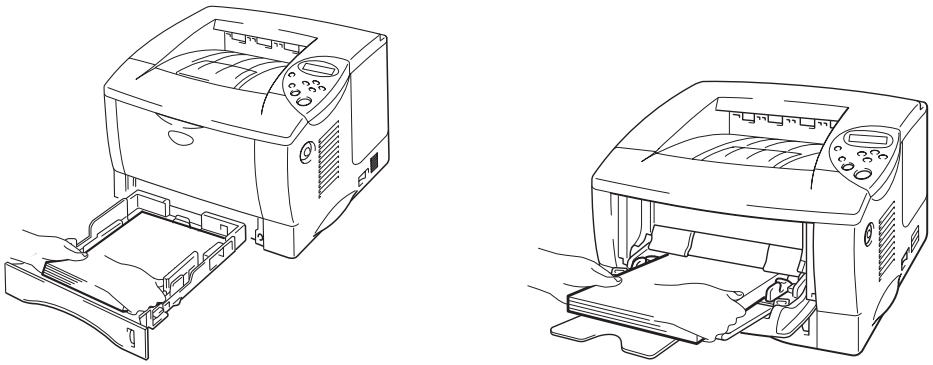


図 1-16

☛ 4.　印刷されたページが全て排紙されたことを確認し、用紙を取り除き、背面排紙トレイを閉じます。

封筒の印刷

印刷にご使用になる封筒は、洋形（横長）をお使い下さい。
和形（縦長）の封筒はご使用いただけませんのでご注意下さい。

下記の封筒は使用しないでください。

- 破れ、反り、しわのある封筒、あるいは規格外の封筒
- 封の部分に粘着加工（のりしろ・シール　など）を施した封筒
- 極端に光沢のある封筒、表面がすべりやすい封筒
- とめ金、スナップ、ひもなどが付いた封筒
- 袋状加工の封筒
- 折り目がしっかりついていない封筒
- エンボス加工の（紙に凹凸がある）封筒
- 一度印刷された封筒
- 内部に模様のある封筒
- 一定に積み重ねられない封筒
- プリンタの印刷可能用紙坪量指定を超える用紙で製造されている封筒（厚すぎたり薄すぎたりする用紙で作られた封筒はご使用にならないでください。）
- 角が直角でない封筒
- フィルム窓付、穴付、くりぬき付、ミシン目付などの封筒
- マチつきの封筒

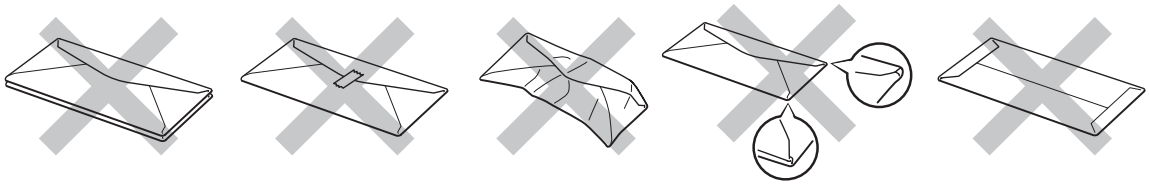
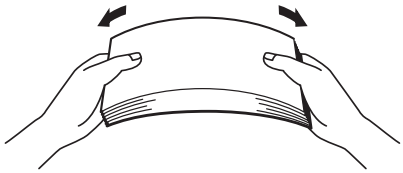


図 1-17

ここにあげた種類の封筒を使用すると、プリンタが故障する可能性があります。
この場合の故障は保証あるいはサービス契約の対象には含まれません。

注

- 封筒を印刷する際には、紙づまりや給紙ミスを防ぐため、あらかじめ封筒をよくさばき、空気を抜いた後でセットしてください。



- 種類の異なる用紙を同時に用紙カセットにセットしないでください。 紙づまりや給紙ミスが起こる可能性があります。
- 封筒に両面印刷することはできません。
- 印刷を正しく行うためには、アプリケーションソフトウェアでの用紙サイズの設定とトレイにセットされた用紙のサイズの設定を同じにしてください。
- アプリケーションソフトウェアのプリントメニューで、印刷したい用紙サイズがサポートされていない場合には、コントロールパネルにて用紙サイズを変更できます。詳細は、第３章をご参照ください。

☛ 1.　マルチパーパストレイを開きます。

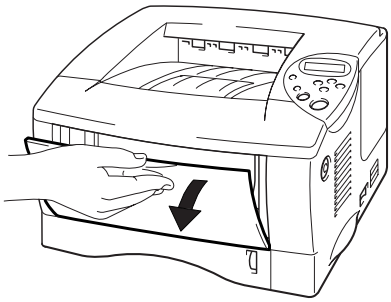


図 1-18

☛ 2.　マルチパーパストレイサポートを伸ばします。

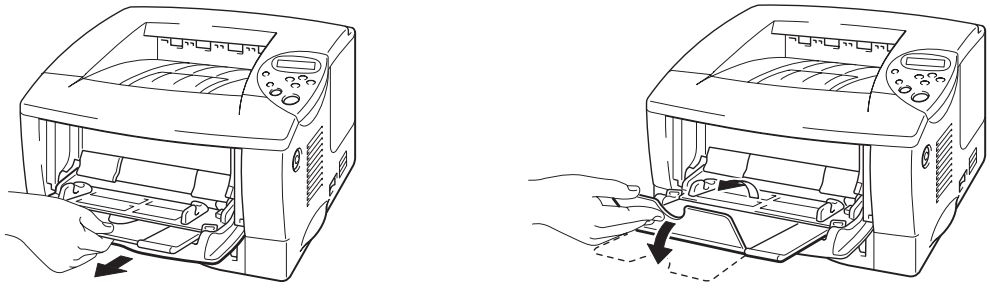


図 1-19

☛ 3. 背面排紙トレイを開きます。

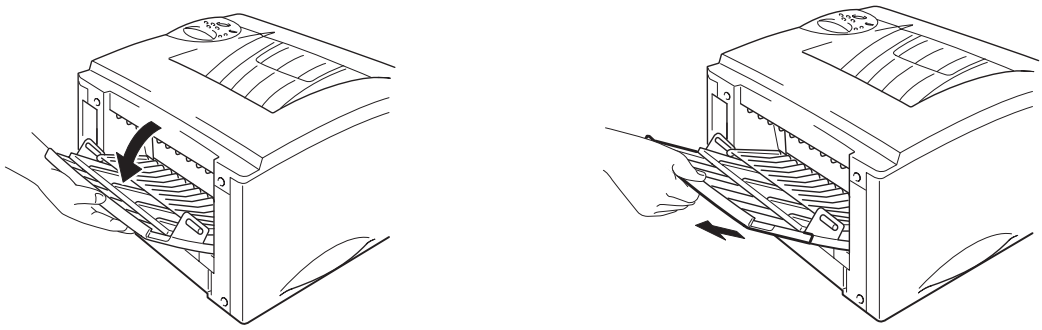


図 1-20

☛ 4. 封筒の印刷する面を上向きに、封筒のフラッパが左側にくるようにマルチパーパストレイにセットします。 この場合、封筒がトレイの奥にしっかり触れていること、また ▼ マーク以下でセットされていることを確認します。

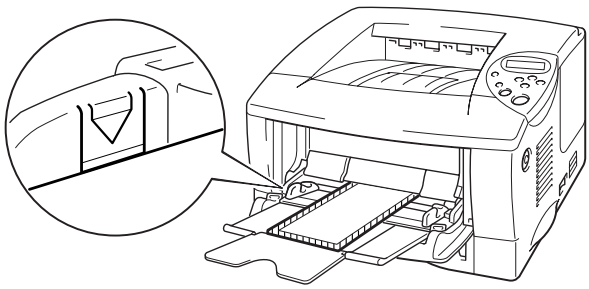


図 1-21

注

マルチパーパストレイに用紙をセットするときには、以下の点にご注意ください。

- 用紙坪量が 135 g/㎡以上ある用紙に印刷する場合、背面排紙トレイを使用してください。
- 用紙の端部を差し込み、用紙をトレイにゆっくりと押し込みます。
- セットした用紙の上端はトレイの両側にあるガイドよりも下になっている必要があります。最大の厚みは 11㎜ です。
- 印刷される面は、上面になります。

☛ 5.　ペーパーガイドをつまみながらスライドさせ、用紙サイズに合わせます。

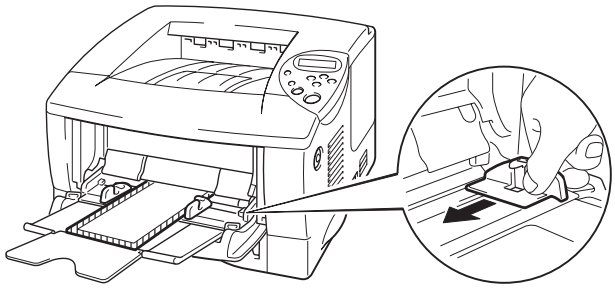


図 1-22

注

封筒がマルチパーパストレイに正しくセットされているか確認してください。
封筒が正しくセットされていないと、正しく給紙されないため、斜めに印刷されたり、紙づまりが起こるおそれがあります。
印刷時、トレイ内部では、用紙は自動的にプリンタへ給紙されます。

☛ 6.　プリンタドライバのプロパティタブで以下の設定を行います。

用紙サイズ	用紙媒体	給紙方法
封筒のサイズ	封筒 封筒(薄め) 封筒(厚め)	MP トレイ

ラベル紙や OHP 用紙などへの印刷

レーザープリンタ用のラベル紙や OHP 用紙の大部分はご使用いただくことができます。
ラベル紙は印刷中の高温でも安定性のあるアクリルベースの粘着性を持つものをご使用下さい。

ラベルの粘着部分が印刷中にプリンタ内部の機器と接触しないようにして下さい。ラベルの粘着素材がドラムやローラーに付着し、紙詰まりや印刷画質低下の原因となります。

ラベルに粘着物が付着していないこと、またラベルから粘着物がはみ出していないことを確認して下さい。

印刷にご使用になるラベル紙・OHP 用紙によっては、プリンタを損傷する場合があります。 このような原因による故障は、保証やサービスの対象となりません。

台紙全面がラベルシートに覆われたラベル紙をご使用下さい。一部をすでに使用したラベル紙をお使いになりますと、シール部分がはがれて紙詰まりや重大な印刷エラーを引き起こす恐れがあります。これらのラベル紙はご使用にならないで下さい。

印刷に使用するラベル紙や OHP 用紙は、0.1 秒に摂氏 200 度の耐熱性があるものをご使用下さい。

ラベル紙・OHP 用紙は取扱説明書の仕様に示される用紙重量を超えないものをご使用下さい。 規定重量を超える用紙を使われますと、給紙、印刷が正しく行われず、プリンタが損傷する恐れがあります。（印刷可能坪量指定に関しましては、取扱説明書の第１章「使用できる用紙について」をご参照ください。）

ラベル紙・OHP 用紙の印刷画質や耐性・性能は保証されていません。

ラベル用紙の粘着剤のはみ出し・硬化を防止する上でも、ラベル用紙の入っている包装用袋・箱からは毎回使用する分のみを取り出し、残りは再度封をして直射日光を避けて保管し、変質を防止して下さい。

ラベル用紙の印刷は一回のみにして下さい。一度プリンタに通したラベル用紙は再度印刷に使用しないで下さい。
破れ、反り、しわのある用紙、規格外の用紙はご使用にならないでください。

粘着加工されたシステム手帳用紙を使用しないでください。糊の部分でプリンタが損傷する可能性があります。

端にミシン目が入った用紙は使用しないでください。

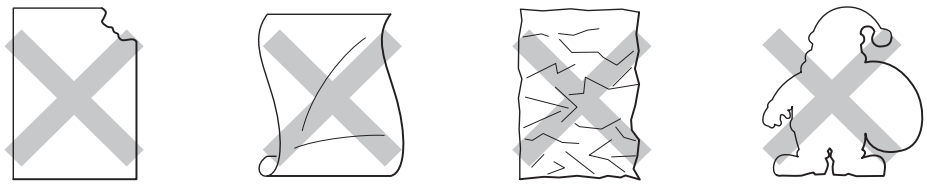


図 1-23

注

- システム手帳用紙のように穴付の用紙を印刷する際には、あらかじめ用紙をよくさばき、正しくセットしてください。 紙づまりや給紙ミスが起こる可能性があります。

- 用紙をさばくときは手を切らないようご注意ください。
- システム手帳用紙のパンチ穴の部分を用紙センサーの近くにセットしないでください。
- 種類の異なる用紙を同時に用紙カセットに入れないでください。 紙づまりや給紙ミスが起こる可能性があります。
- 印刷を正しく行うためには、アプリケーションソフトウェアのプリントメニューで、印刷する用紙サイズの設定とトレイにセットされた用紙のサイズの設定を同じにして下さい。
- アプリケーションソフトウェアのプリントメニューで、印刷する用紙サイズがサポートされていない場合には、プリンタのコントロールパネルを使って用紙サイズを変更できます。 詳細は第３章をご参照ください。

警告

印刷されたばかりの OHP 用紙は高温になっている恐れがあります。印字直後は触らないでください。

☛ 1.　マルチパーパストレイを開きます。

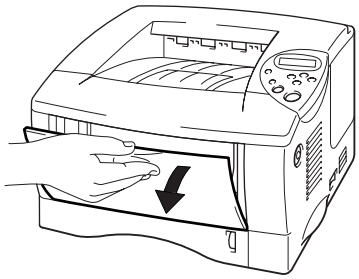


図 1-24

☛ 2.　マルチパーパストレイサポートを伸ばします。

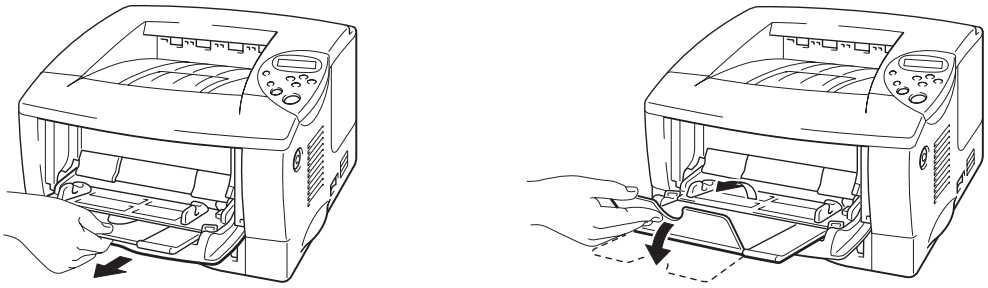
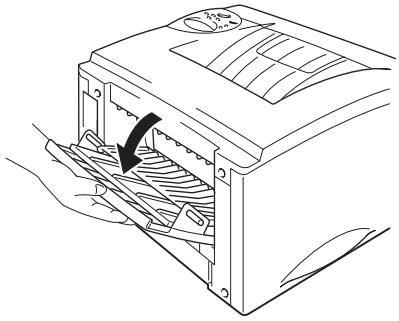


図 1-25

注

ラベル紙を使用する場合には、背面排紙トレイを開きます。



OHP 用紙を使用する場合には、背面排紙トレイは閉じます。

☛ 3.　用紙をマルチパーパストレイにセットします。 この場合、用紙がトレイの奥にしっかり触れていること、また ▼ マーク以下でセットされていることを確認します。

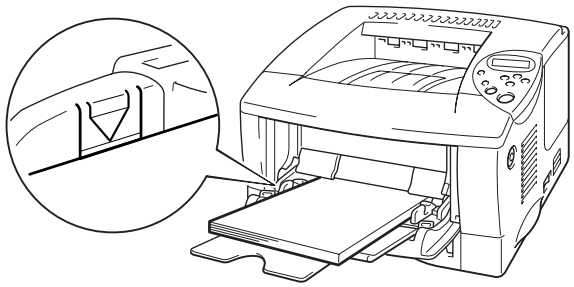


図 1-26

注

印刷する面を上向きにしてセットしてください。

注

マルチパーパストレイに用紙をセットするときには、以下の点にご注意ください。

- 用紙坪量が 135 g/㎡ 以上の用紙に印刷する場合には、背面排紙トレイを使用してください。
- トレイに用紙をセットするときには、最初に先端部を入れ、次に全体を静かに奥に押しこみながらセットしてください。

☛ 4.　ペーパーガイドをつまみながらスライドさせ、用紙サイズに合わせます。

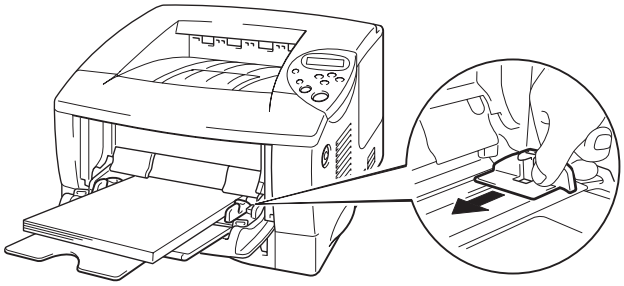


図 1-27

☛ 5.　プリンタドライバのプロパティタブで以下の設定を行います。

印刷する紙の種類	用紙サイズ	用紙媒体	給紙方法
OHP 用紙	A4 またはレター	OHP	トレイ 1 または MP トレイ
ラベル	A4 またはレター	普通紙または普通紙(厚め)	MP トレイ

両面印刷

Windows95/98/Me,WindowsNT4.0,Windows2000/XP のプリンタドライバには、自動両面印刷の機能があります。

両面印刷の注意

用紙が薄い場合には、印刷結果にしわが入る可能性があります。

用紙が反っている場合には、まっすぐにのばしてから用紙カセットにセットしてください。

A4、レターまたはリーガルサイズの普通紙（60～105 g/m2）を使用してください。 ボンド紙は両面印刷では使用できません。

横目の用紙はプリンタ内部で紙詰りが発生する可能性がありますので、使用しないでください。

☛ 1.　本体用紙カセットまたはマルチパーパストレイに用紙をセットします。

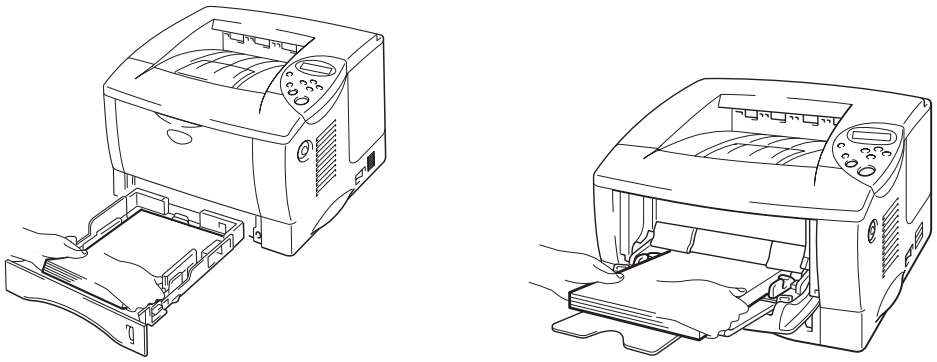


図 1-28

☛ 2. レターサイズやリーガルサイズの用紙を使用する場合には、両面印刷用紙サイズレバーをあらかじめレターサイズに合わせます。

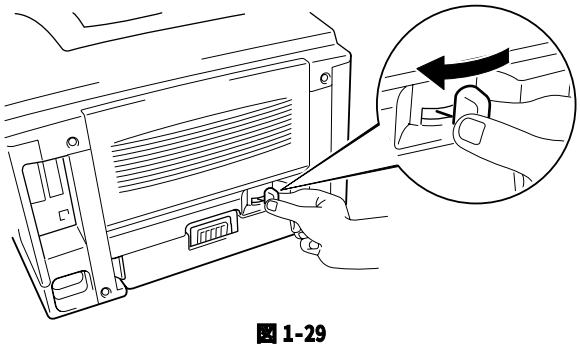


図 1-29

注

両面印刷用紙サイズレバーが用紙に対して正しく設定されていない場合には、紙づまりの原因となったり、用紙上の印刷位置が大幅にずれる場合があります。

☛ 3.　プリンタドライバのプロパティ画面を開きます。2 章「プリンタドライバのプロパティの開き方」をご参照ください。

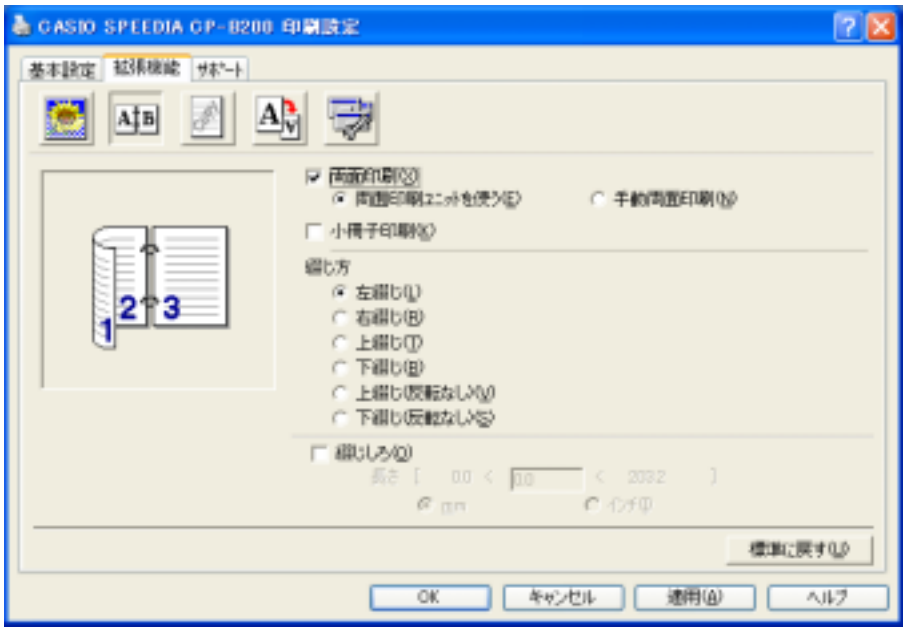
☛ 4.　「拡張機能」タブを開き、「両面印刷」アイコンをクリックします。

☛ 5.　「両面印刷」と「両面印刷ユニットを使う」を選択します。

☛ 6.　綴じ方の設定をします。

☛ 7.　OK ボタンをクリックします。

（Windows XP の画面を使用しています。）



小冊子印刷

両面印刷と、2 in 1 機能（2 ページ分のデータを 1 ページに印刷）を組み合わせることで、小冊子のような印刷物を作ることができます。

小冊子印刷についての注意点

用紙が薄い場合には、印刷結果にしわが入る可能性があります。

用紙が反っている場合には、まっすぐにのばしてから用紙カセットにセットしてください。

A4 またはレターの普通紙（60～105 g/㎡）を使用してください。 ボンド紙は使用できません。

☛ **1.** 本体用紙カセットまたはマルチパーパストレイに用紙をセットします。

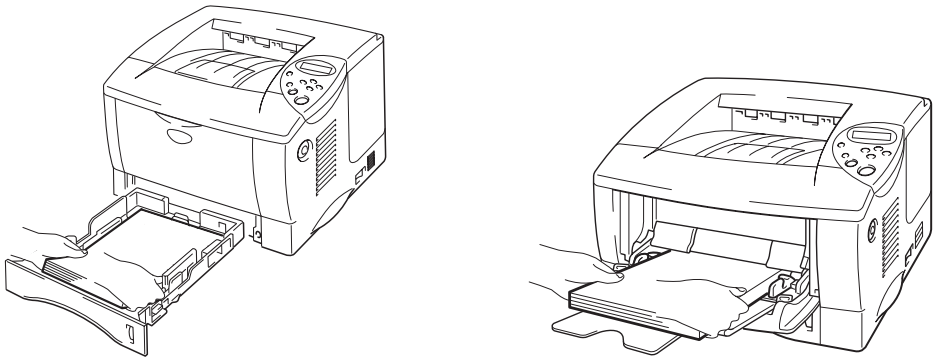
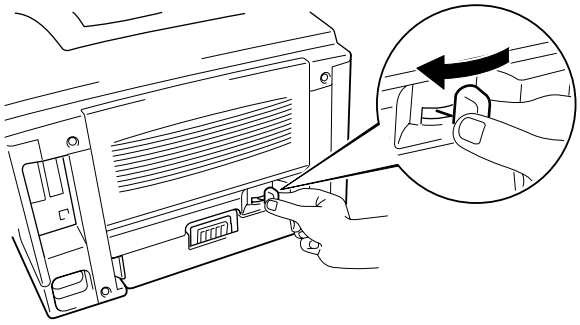


図 1-30

注

レターサイズやリーガルサイズの用紙を使用する場合には、両面印刷用紙サイズレバーをレターサイズに合わせます。



両面印刷用紙サイズレバーが用紙に対して正しく設定されていない場合には、紙づまりの原因となったり、用紙上の印刷位置が大幅にずれる場合があります。

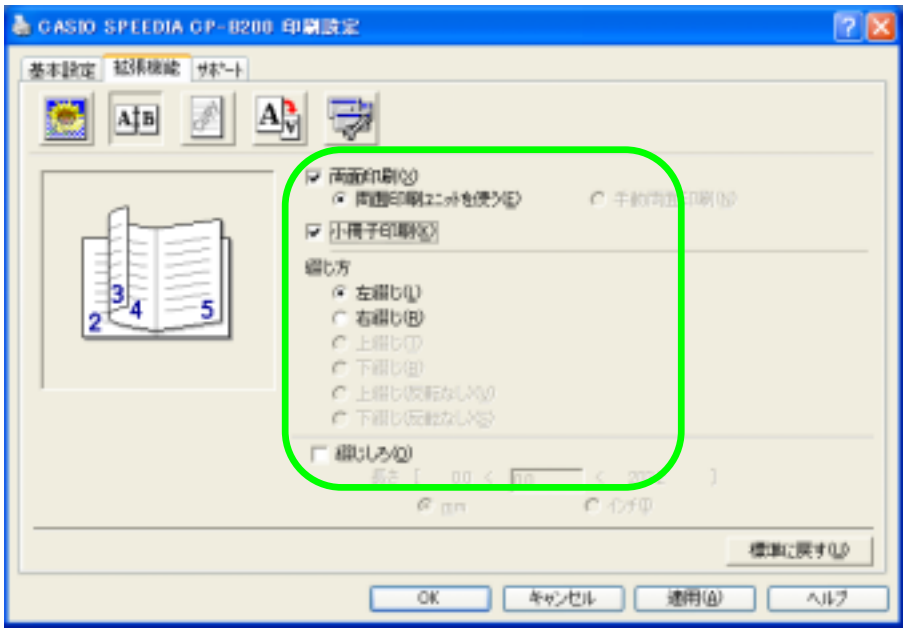
☛ 2.　プリンタドライバのプロパティ画面を開きます。

☛ 3.　「拡張機能」タブを開き、「両面印刷」アイコンをクリックします。

☛ 4.　「両面印刷」と「両面印刷ユニットを使う」を選択します。

☛ 5.　「小冊子印刷」を機能を選択し、綴じ方の設定をします。

（Windows XP の画面を使用しています。）



手差し印刷

用紙を手差しで給紙する場合には、以下の点にご注意ください。

アプリケーションソフトウェアが手差し印刷をサポートしている場合には、ソフトウェアで手差しを選択することができます。

コントロールパネルの設定よりも、プリンタドライバもしくはアプリケーションの設定が優先されます。

コントロールパネルにて「ヨウシ」モードで「テサシ＝オン」が設定された場合、マルチパーパストレイからしか給紙されません。
マルチパーパストレイに設定されている紙のサイズにかかわらず、マルチパーパストレイから給紙されます。マルチパーパストレイに紙が無ければ、紙をセットするように、コントロールパネルにメッセージが表示されます。

片面に印刷された用紙の裏面に印刷する場合には、これから印刷する面（白紙）を上向きにし、用紙をマルチパーパストレイの奥までセットしてください。

第2章
ドライバとソフトウェア

プリンタドライバ

プリンタドライバとは、デバイスドライバの一種で、プリンタを制御する為のプログラムです。

以下のオペレーティングシステムのプリンタドライバが CD-ROM で供給されています。

	Windows プリンタドライバ
Windows® 95/98/Me	✓
Windows® 2000/XP	✓
Windows NT® 4.0	✓

プリンタドライバのインストール

製品に同梱されているクイックセットアップガイド、Windows ドライバインストールガイドを参照してください。

プリンタドライバおよびアプリケーションのアンインストール

☛ **1.** 「スタート」メニューの「プログラム」から「CASIO SPEEDIA CP-B200」を選択します。
(Windows XP をご使用の場合は「スタート」メニューの「すべてのプログラム」から「CASIO SPEEDIA CP-B200」を選択します。)

☛ **2.** 「アンインストール」を選択します。画面の指示にしたがってアンインストールをおこないます。

Windows プリンタドライバの特長

ここではWindows® XPでの使用方法を例に説明します。表示される画面はご使用のオペレーティングシステムにより異なります。

印刷機能は、アプリケーションから印刷するときに表示されるプリンタドライバのプロパティで設定できます。
初期設定を変更するときは、スタートメニューの「設定」、「プリンタ」（Windows XPをご使用の場合は「プリンタとFAX」）内のプリンタアイコンから表示されるプロパティで設定できます。

詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

❖ プリンタドライバのプロパティの開き方

アプリケーションから印刷するときに表示されるプリンタドライバのプロパティを開くためには、プリンタドライバ画面の「プロパティ」ボタンをクリックします。ここでの設定内容は、印刷するデータを開いているアプリケーションのみに影響します。

プリンタアイコンから表示されるプロパティの開き方は、以下で説明します。ここでの設定は、今後の印刷設定に影響します。

☛ **1.** 「スタート」メニューから「プリンタとFAX」を選択します。（Windows® 95/98/Me/NT4.0/2000をご使用の場合は「スタート」メニューの「設定」から「プリンタ」を選択します。）

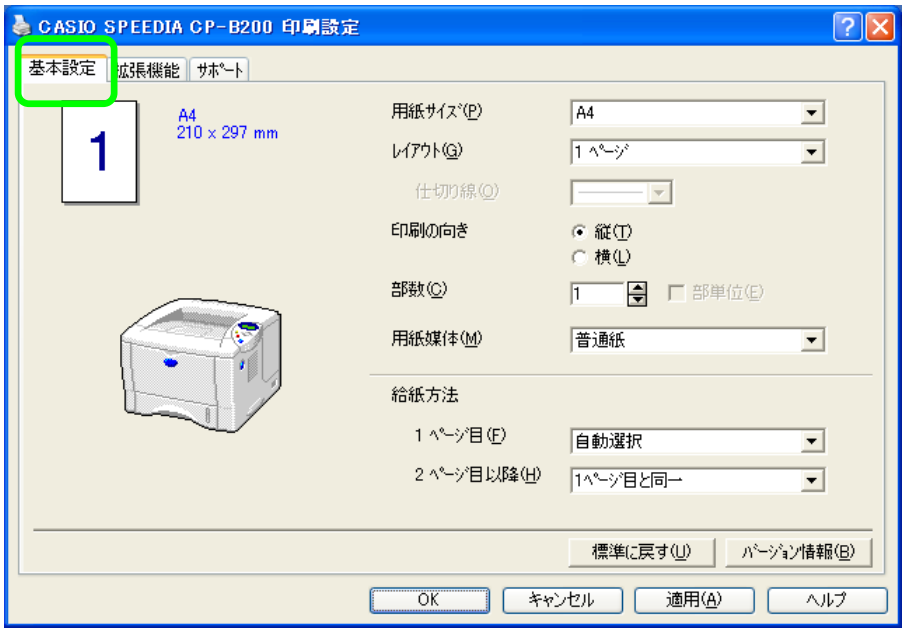
☛ **2.** 「CASIO SPEEDIA CP-B200」アイコンをクリックし、「ファイル」メニューから「プロパティ」を選択します。プロパティ画面が表示されます。

❖ 基本設定タブ

Windows 95/98/Me をご使用の場合
プロパティ画面の基本設定タブをクリックします。

Windows NT4.0 をご使用の場合
ファイルメニューの「ドキュメントの既定値」を選択します。

Windows 2000/XP をご使用の場合
プロパティ画面の印刷設定ボタンをクリックします。

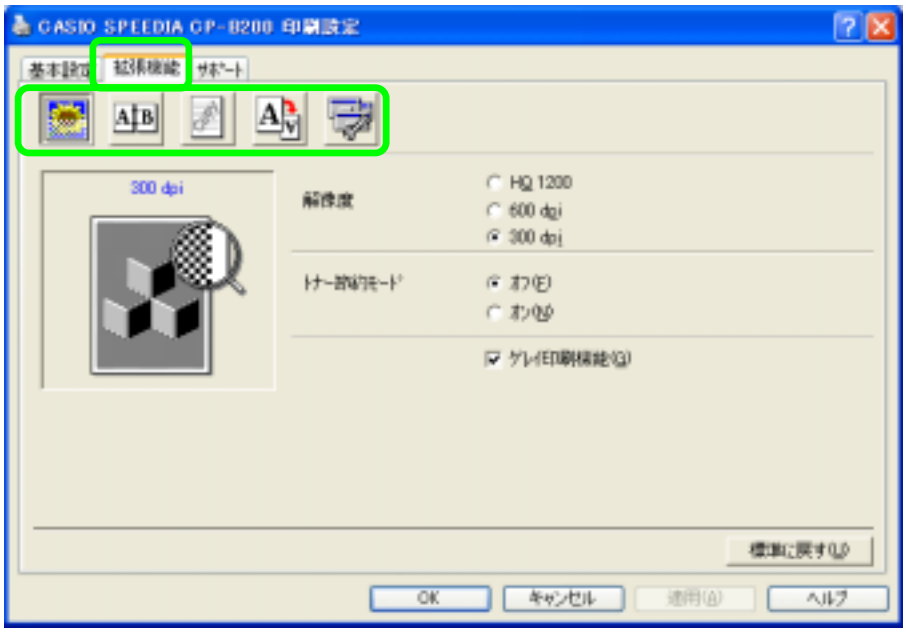


用紙サイズ、レイアウト、仕切り線、印刷の向き、部数、用紙媒体、給紙方法などについて設定します。
一部の設定は、ドライバ画面の左側にあるイラストをクリックすると変更できます。

❖　拡張機能タブ

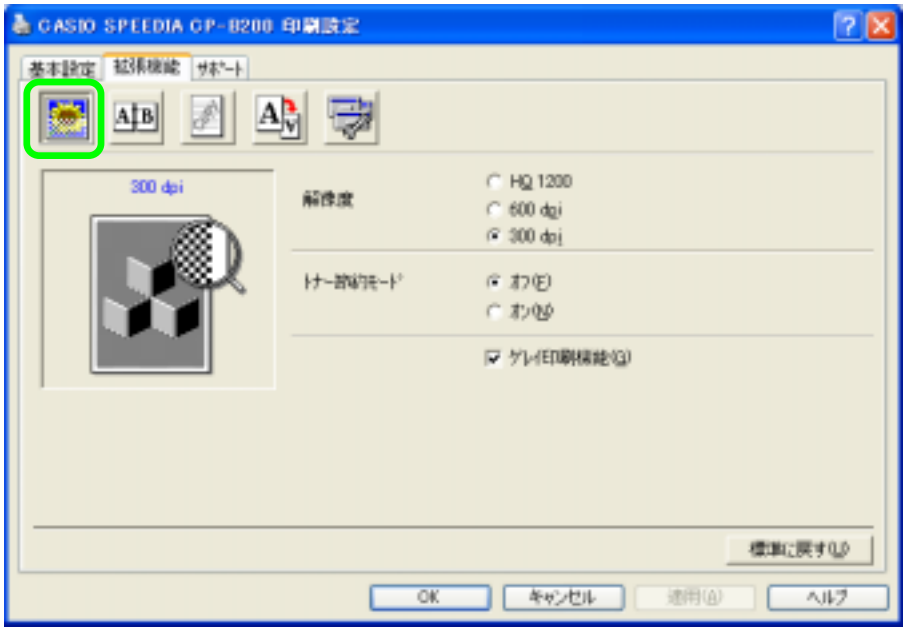
Windows 95/98/Me をご使用の場合
プロパティ画面の拡張機能タブをクリックします。

Windows NT4.0/2000/XP をご使用の場合
プロパティ画面の印刷設定ボタンをクリックし、拡張機能タブをクリックします。



「グラフィックス」、「両面印刷」、「ウォーターマーク」、「ページ設定」、「その他特殊機能」の５つのアイコンがあります。
クリックすると、それぞれの項目の設定画面に変わります。

グラフィックス



グラフィックスアイコンをクリックします。
解像度、トナー節約モードなどの設定をします。

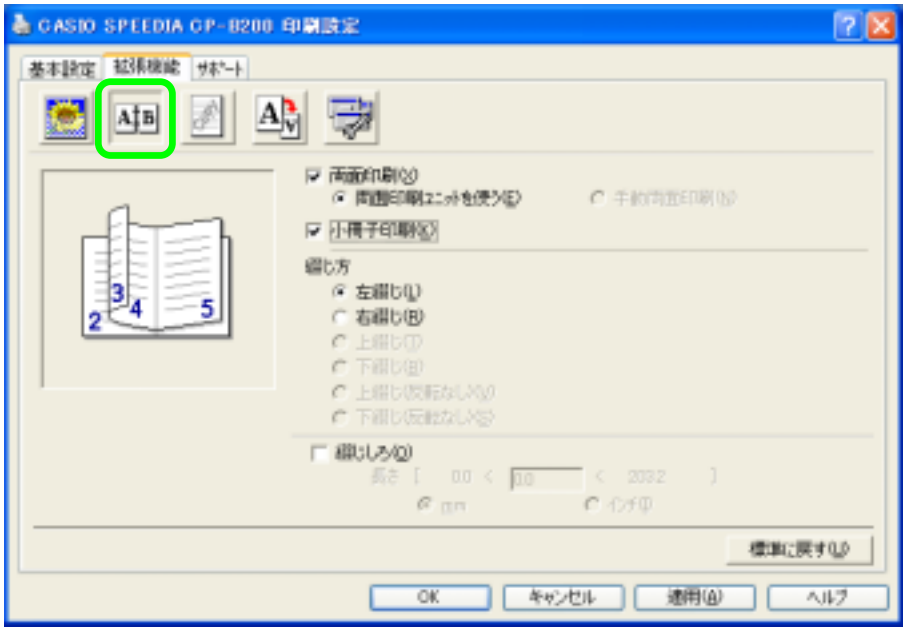
解像度
HQ1200
600 dpi
300 dpi

トナー節約モード
消費するトナーを節約して、ランニングコストを節減することができます。

印刷設定（Windows® 95/98/Me/ドライバのみ）
印刷設定を手動で設定にすることにより、明るさ、コントラスト、グラフィックスモード、TrueType モードを自由に設定できます。

グレー印刷機能（Windows® NT4.0/2000/XP ドライバのみ）
階調部分がうまく印刷されないときは、この設定を使用します。

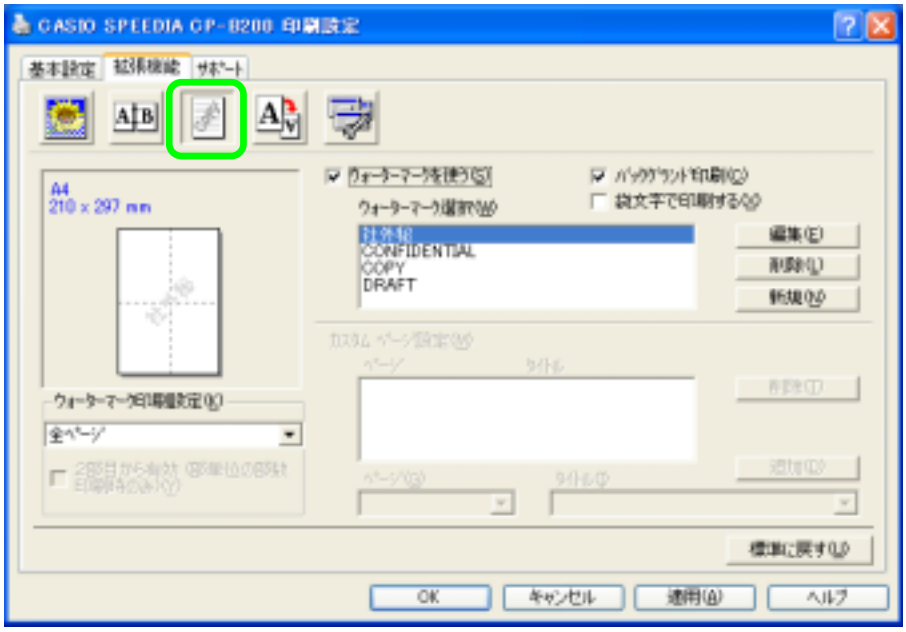
両面印刷



両面印刷アイコンをクリックします。
両面印刷、小冊子印刷、綴じ方、綴じしろなどの設定をします。

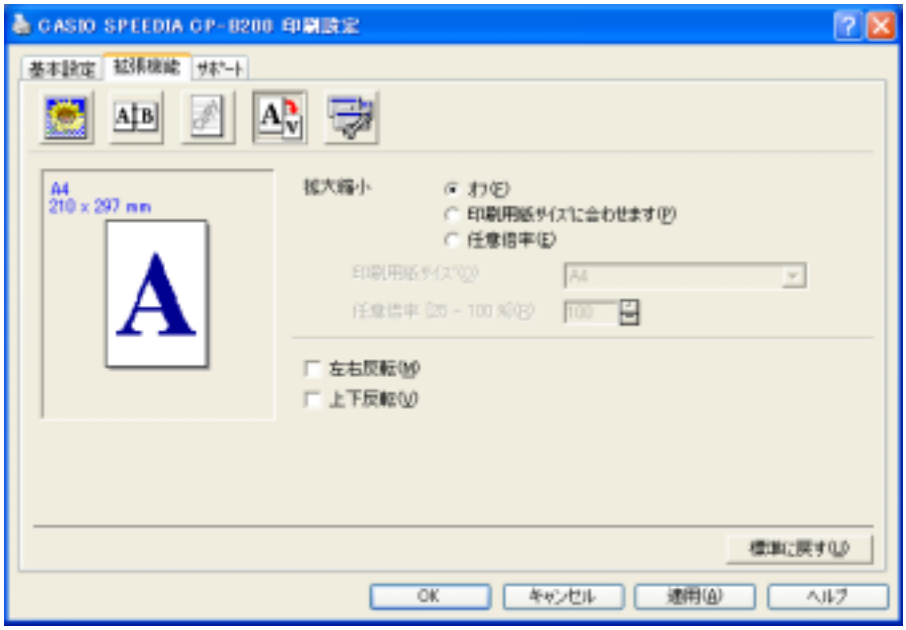
小冊子印刷
このプリンタには両面印刷ユニットが標準装備されています。この機能を使って、小冊子の印刷が可能になります。

ウォーターマーク



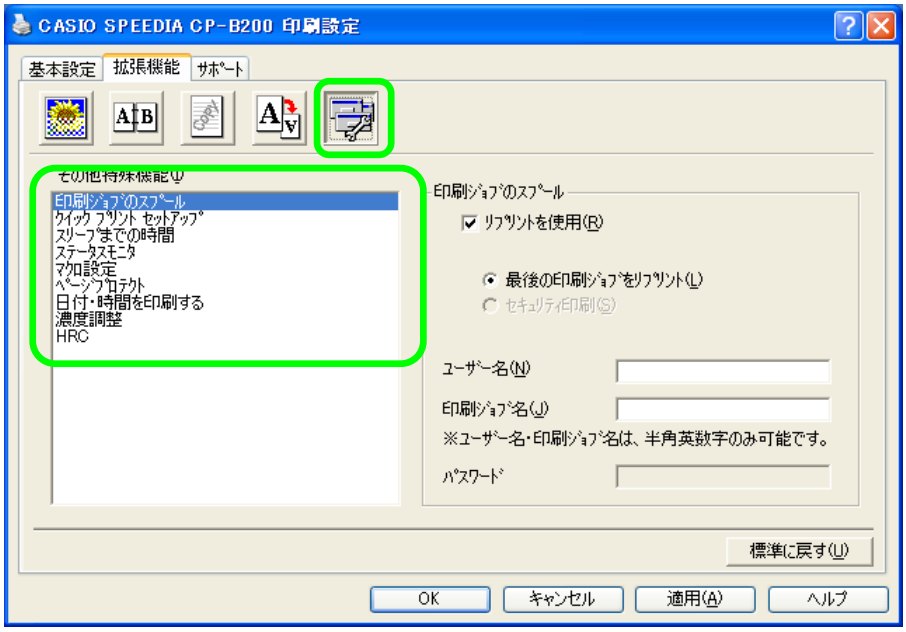
ウォーターマーク（透かし）を自動的に文書に印刷する設定ができます。ウォーターマークの作成や編集、濃度やページ指定、文字や画像ファイルなど、各種設定ができます。

ページ設定



拡大縮小、左右反転、上下反転などの設定ができます。

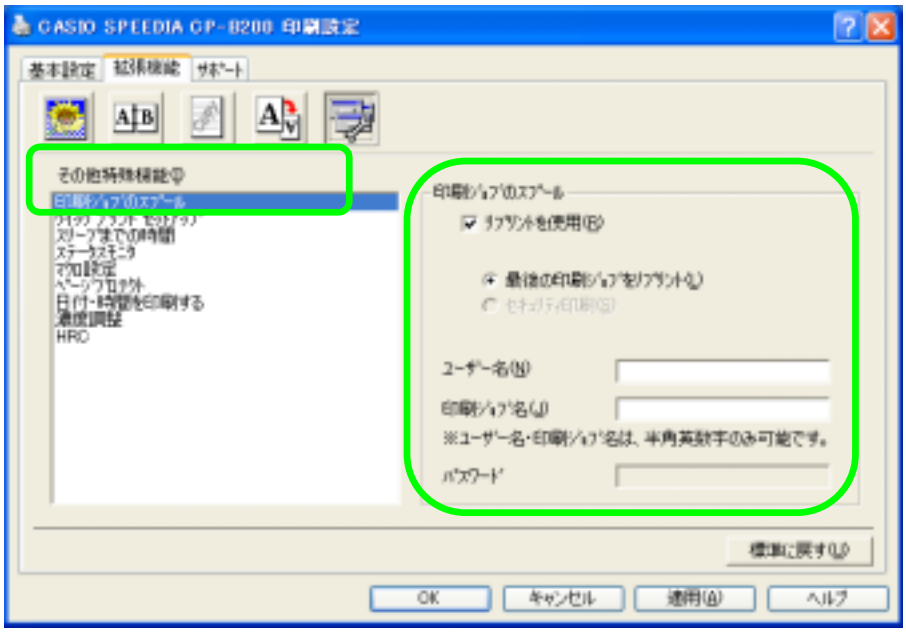
その他特殊機能



ここでは以下の印刷機能を設定します。

印刷ジョブのスプール
クイックプリントセットアップ
スリープまでの時間
ステータスモニタ
マクロ設定
設定保護管理機能（Windows® 95/98/Me ドライバのみ）
コマンド/ファイルの追加（Windows® 95/98/Me ドライバのみ）
ページプロテクト
日付・時間を印刷する
濃度調整
HRC(Windows® NT4.0/2000/XP ドライバのみ)
　Windows® 95/98/Me ドライバの場合はグラフィックスタブの手動設定のダイアログにて設定します。

印刷ジョブのスプーリング



リプリント(再印刷)やセキュリティ印刷の設定をします。

最後の印刷ジョブのリプリント（再印刷）

最後に印刷した印刷ジョブをリプリント(再印刷)します。印刷データはプリンタの RAM メモリに保存されているため、一旦プリンタの電源を切るとリプリントできません。

リプリント機能についての詳細は、第３章の「Reprint（再印刷）キー」をご覧ください。

セキュリティ印刷

印刷データと共にパスワードをプリンタに送信します。

この印刷ジョブは、プリンタのコントロールパネルを使ってパスワードを入力しない限り印刷できません。

印刷が終わると、RAM メモリに保存されていた印刷ジョブは自動的に消去されます。また、プリンタの電源を切ると RAM メモリ内のデータは消去されます。

電源を切らずに RAM メモリから印刷ジョブを消去したい場合は、プリンタのコントロールパネルを使ってパスワードを入力する必要があります。

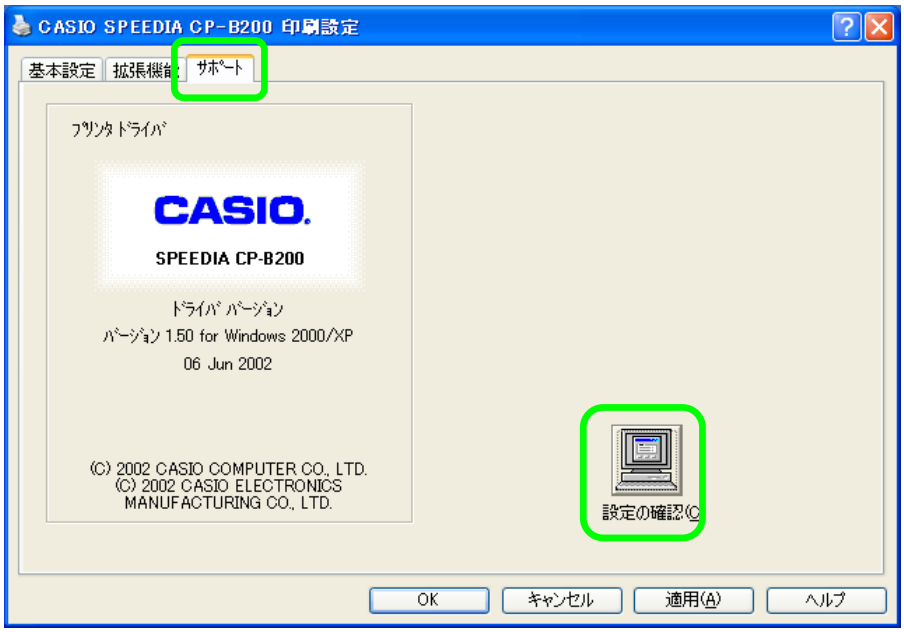
注

他の人が自分のデータを印刷することを防止するには、印刷ジョブのスプール設定で「リプリントを使用」のチェックマークを外します。

❖　サポートタブ

Windows 95/98/Me をご使用の場合
プロパティ画面のサポートタブをクリックします。

Windows NT4.0/2000/XP をご使用の場合
プロパティ画面の印刷設定ボタンをクリックし、サポートタブをクリックします。

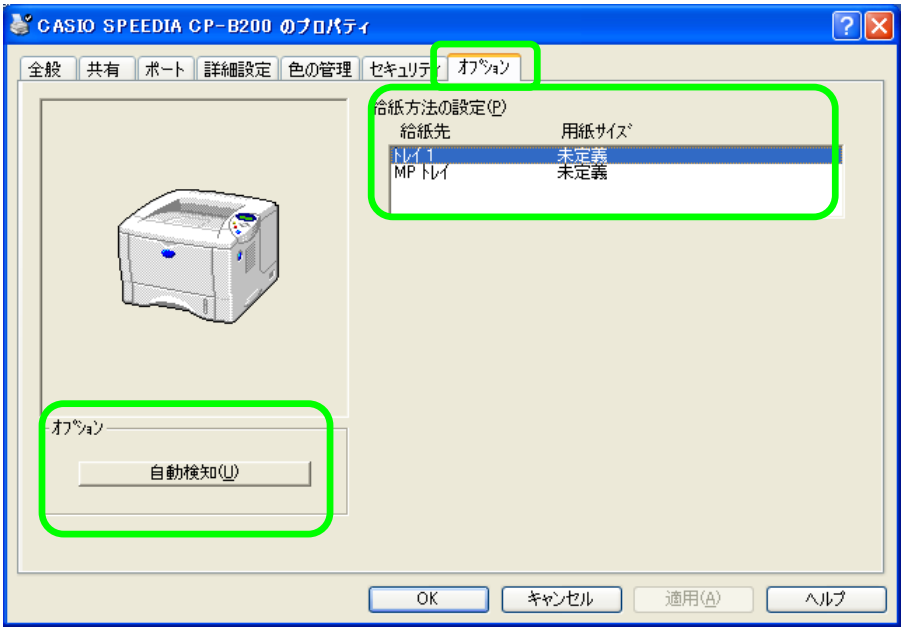


設定の確認

ドライバの主要機能に関しての現在の設定値を表示します。

❖ オプションタブ

プロパティ画面のオプションタブをクリックします。



オプションについて設定します。

自動検知ボタン

自動検知ボタンをクリックすると、本体のコントロールパネルで設定されている用紙サイズを表示します。

プリンタの状態や接続状況によっては、「自動検知」がうまく働かないことがあります。このようなときは、給紙方法（トレイ）や用紙サイズの設定は本体のコントロールパネルで設定してください。

給紙方法の設定

自動検知ボタンをクリックすると、本体のコントロールパネルで設定されている用紙サイズを表示します。

Windows用ユーティリティソフトウェア

以下のソフトウェアは製品に同梱されているCD-ROMからインストールできます。

❖ ネットワークプリントソフトウェア

ネットワークを通じて印字を行うために必要なプリンタドライバ、および、ピアツーピアWindowsネットワークで印字を行うためのソフトウェアです。

❖ BRAdmin Professional

ネットワークで接続された複数のプリンタを管理するためのソフトウェアです。

自動インタフェース選択

このプリンタには自動インターフェース選択機能が内蔵されています。 プリンタがコンピュータからデータを受信すると、プリンタは自動的に適切なインタフェースを選択します。

パラレルインタフェースを使用する場合は、コントロールパネルを使って「インタフェース」モードの「パラレル」メニューで高速通信および双方向パラレル通信をオンまたはオフに設定することができます。 詳細は第３章をご参照ください。 工場設定では自動インタフェース選択モードはオンに設定されているため、インタフェースケーブルをプリンタに接続するだけで機能は有効になります。

常にひとつのインターフェースのみをご使用になられる場合は、自動インターフェース選択機能を使わず、コントロールパネルの「インターフェース」モードから選択することをお勧めします。もしひとつのインターフェースが選択されていた場合、全ての受信バッファが、そのインターフェース用に割り当てられます。

第3章
コントロールパネル

キー名称

プリンタの基本動作や各種のプリンタ設定は、コントロールパネル上のキー（Go、Job Cancel、Reprint、 +、 –、Set、Back）を使って変更できます。

図3-1

キー	機能
Go	モードの選択 メニュー設定、再印刷設定の終了 エラーの解除 印刷の一時停止／再開
Job Cancel（ジョブキャンセル）	受信中、印字中のデータを途中でキャンセル
Reprint（リプリント）	再印刷の設定
+	モード／メニュー内の設定項目の選択
-	モード／メニュー内の設定項目の選択
Set	選択したメニューや項目の決定
Back	現在の設定項目から戻る

コントロールパネルの操作を30秒間行わないと、LCDは自動的に「インサツデキマス」に戻ります。

Goキー

Goキーを１度押すと、現在の状態から抜けて、「インサツデキマス」の状態に戻ります。 エラー表示の場合、パネルはエラー状態が解除したときのみこのキー操作が有効です。

印刷中の場合はGoキーによって印刷を一時的に停止することができます。 もう一度Goキーを押すと、印刷は再開されます。

注

プリンタが「テイシ」状態の時にJob Cancelキーを押すと、残りのデータは印刷されず、キャンセルされます。プリンタが「テイシ」の状態の時にGoキーを押すと、プリンタは「インサツデキマス」の状態になります。

Job Cancel（ジョブキャンセル）キー

Job Cancelキーを押すと、データの処理や印刷をキャンセルすることができます。 LCDには、ジョブキャンセル処理が終了するまで、「ジョブ キャンセル」メッセージが 表示されます。 ジョブキャンセルが終了した後、プリンタは「インサツデキマス」の状態に戻ります。

プリンタがデータを受信中もしくは印刷中でない場合にJob Cancelキーを押すと、「データナシ!!!」と表示されます。

Reprint（再印刷）キー

直前に印刷したデータをもう一度印刷したい場合には、Reprintキーを押すと印刷できます。

再印刷は、プリンタのコントロールパネルを使って行います。
セキュリティ印刷は、プリンタのコントロールパネルを使って行います。

セキュリティ印刷を行う場合には、RAMディスクを確保しておく必要があります。

プリンタが「インサツデキマス」もしくはメニュー設定画面にある場合のみ、リプリント機能を使用できます。

注

- 再印刷をするには、コントロールパネルにて「セットアップ」モードで「リプリント」メニューをオンにします。（初期設定はオンになっています。）
- 再印刷をプリンタドライバによって行う場合、コントロールパネルでの設定よりもプリンタドライバで行われた設定が優先されます。詳細は第2章の「印刷ジョブのスプーリング」をご参照ください。

♦ RAMディスクを使用してセキュリティ印刷を行う設定をする

☛ 1. コントロールパネルのMenuキーを使って「セットアップ」モードから「RAMディスク サイズ」選択します。

☛ 2. +キーでRAMサイズを選択し、Setキーを押して決定します。 +キーを押すごとに、再印刷するRAMサイズを1 MB単位で増やすことができます。

☛ 3. LCDに「リスタート？」が表示されたら、Setキーを押します。プリンタは自動的に再起動し、RAMディスクの確保を行います。（再起動をしない場合は、電源を一旦切り、また電源を入れます。）

注

セキュリティ印刷を行うためにRAMディスクを確保した場合には、プリンタの作業領域が減少し、プリンタの性能は低下します。

❖　直前のジョブの再印刷

直前に印刷したデータはコンピュータから再びデータを送らなくても印刷することができます。

注

- コントロールパネル上の設定で「リプリント」がオフに設定されているときにReprintキーを押すと、LCDに「キオクデータ ナシ」が表示されます。
- 再印刷をキャンセルするには、Job Cancelキーを押します。 この時、直前のジョブデータは削除されます。
- Job Cancelキーを押すと、一時停止状態の再印刷ジョブをキャンセルします。
- 印刷データのサイズがメモリ容量をオーバーした場合、 最後の一枚のみ再印刷します。
- 再印刷の部数の増減は － または ＋ キーにて行います。 その際はブスウ= 1 （コピー数＝１）からブスウ=999（コピー数＝999）まで可能です。 数が多い場合には、+キーを押し続けると、より速くスクロールします。
- プリンタドライバの設定についての詳細は、第2章の「印刷ジョブのスプーリング」をご参照ください。

♦ 例：直前のジョブを3部印刷する

再印刷の部数の増減は **–** または **+** キーにて行います。 その際はブスウ= 1（コピー数＝１）からブスウ=999（コピー数＝999）まで可能です。 数が多い場合には、**+**キーを押し続けると、より速くスクロールします。

Reprintキーを押します。

↓

ブスウ= 1

↓ **+** キーを押して、数値の選択を行います。

ブスウ= 3

↓ **Set**または**Reprint**キーにて印刷を開始します。

インサツチュウ

注

- キー操作がない状態で一定時間が経過した場合は、これらのメニューを終了し、「インサツデキマス」の状態に戻ります。
- データを再印刷しようとして誤って**Go**キーを押してしまった場合には、LCDに「SETキーヲ オス」が表示されます。 この場合、**Set**キーを押すとジョブの再印刷が行われ、**Go**キーを押すと再印刷メニューを終了します。

❖　セキュリティデータの印刷

セキュリティデータはパスワードによって保護されています。セキュリティデータをプリンタに送った場合、コントロールパネルでパスワードが入力されるまで、データは印刷されません。

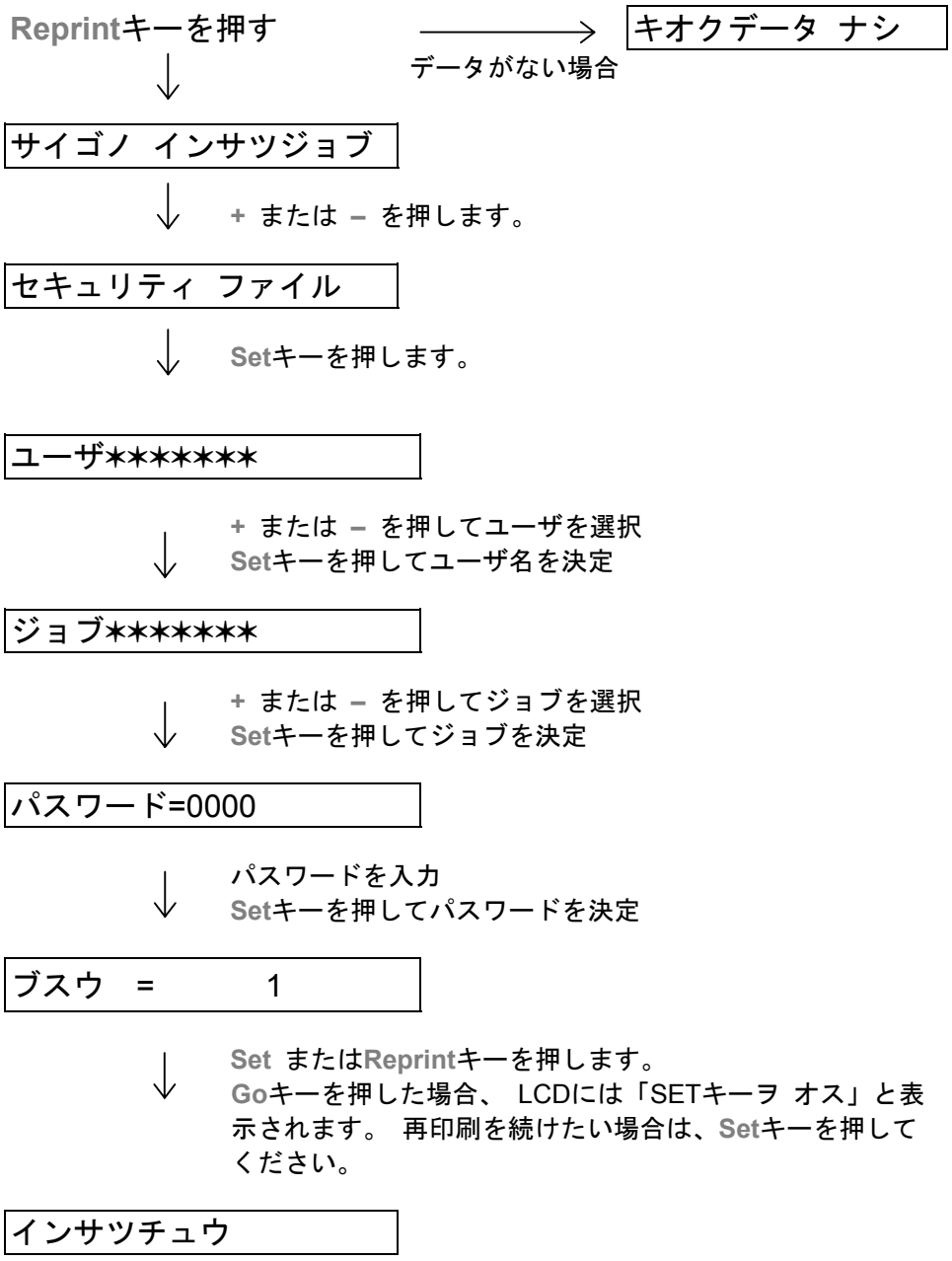
プリンタに送ったデータを印字せずに削除したい場合には、プリンタの電源を切ります。RAMメモリから印刷ジョブが消去されます。

注

ジョブ情報内（ユーザー名やジョブ名）に漢字等のLCD上で表示できない文字が存在する場合には、LCDは正しく表示されません。

ジョブの再印刷は、プリンタドライバのプロパティを使って設定できます。
詳細は第2章の「印刷ジョブのスプーリング」をご参照ください。

♦ セキュリティデータの印刷操作



注

- キー操作がない状態で一定時間が経過した場合は、これらのメニューを終了し、「インサツデキマス」の状態に戻ります。
- 直前のジョブを印刷したい場合は、「サイゴノ インサツブツ」と表示された後でSetキーを押してください。 直前のジョブがない場合は、このメッセージは表示されません。

♦　メモリに再印刷するデータが存在しない場合

メモリにデータが無いときにReprintキーを押すと、LCD には「キオクデータナシ」と表示されます。

♦　再印刷のキャンセル

Job Cancelキーを押すと、再印刷をキャンセルすることができます。 また一時停止中の再印刷ジョブもキャンセルすることができます。

Menu (+ / – / Set / Back)キー

LCDに「インサツデキマス」と表示されているときに、Menuキーのいずれかを押すとモード設定メニューに入ります。

❖ +/–キー

プリンタがオンライン（「インサツデキマス」表示）にある場合に＋または–キーを押すと、オフラインに切り替わりLCDにメニューが表示されます。

現行モードのメニュー表示
プリンタがオンライン（「インサツデキマス」表示）にある場合に＋または–キーを押すと、オフラインに切り替わりLCDに現行モードが表示されます。
＋または– キーを押すことで、現行モードから他のメニューへ移ることができます。

＋または– キーを押すと、メニューやディスプレイの設定を通じ、前後にスクロールさせることができます。見たいメニューが表示されるまで、キーを押し続けて下さい。

番号を設定する
＋または– キーを１回押すと、上または下にひとつスクロールします。
＋または– キーを押しつづけると、より速くスクロールします。
番号が現われたら、Setキーを押して確定します。

❖ Setキー

プリンタがオンライン（「インサツデキマス」表示）にある場合にSetキーを押すと、オフラインに切り替わりLCDに現行モードが表示されます。Setキーを押してメニューもしくは表示の内容を決定します。メニューもしくは番号を変更すると、アスタリスクがメッセージの右側に現われ、ひとつ前のメニューに戻ります。

注

アスタリスクは選択されたものを示し、ディスプレイをスクロールして現行の設定を簡単に見つけ出すことができます。

❖ Backキー

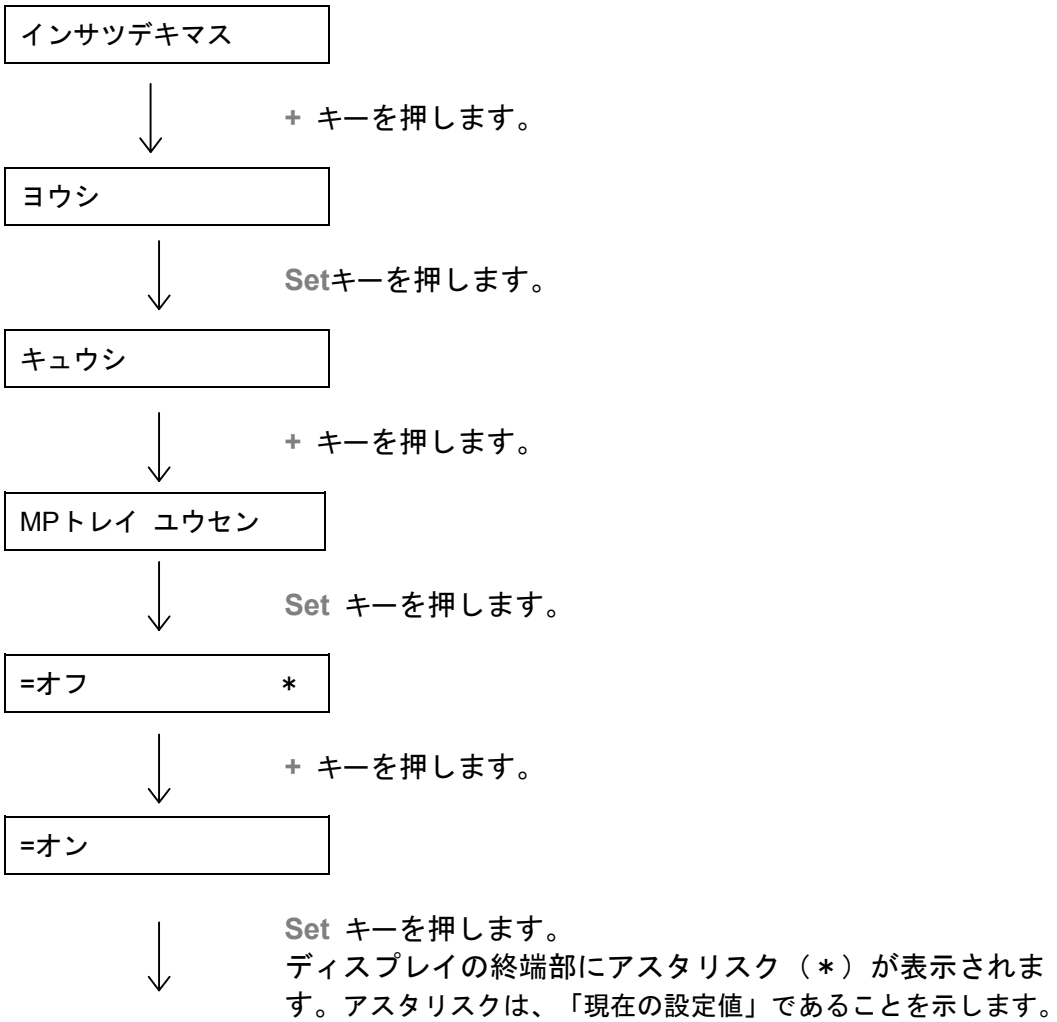
プリンタがオンライン（「インサツデキマス」表示）にある場合にBackキーを押すとオフラインに切り替わり、LCD上には現行モードが表示されます。

Backキーを押すと、ひとつ前の階層に戻ります。
番号入力中にBackキーを押すと、ひとつ前の桁を選ぶことができます。左端の数字を選択しているときは、Backキーを押すとメニューのレベルがひとつ前の階層に戻ります。

コントロールパネルの使い方の例

❖ 「MPトレイ ユウセン」をONに設定するとき

マルチパーパストレイからの給紙を最優先する場合には「ＭＰトレイ ユウセン」をオンにします。（デフォルト設定はオフです。）



LED

LEDランプはプリンタの状態を示すために点灯あるいは点滅します。

❖　データ　（オレンジ色のLED）

LED 表示	意味
点灯	データはプリンタメモリに残っています
点滅	データ受信または処理中
消灯	データは何も残っていません

LCDディスプレイ

LCDは現在のプリンタの状態やメニューの内容を表示します。コントロールパネルのキーを押すと、ディスプレイの表示が切り替わります。

プリンタに問題が発生した場合には、ディスプレイはその内容に応じて、エラーメッセージを表示し、お客様に処置を取っていただくよう促します。 これらのメッセージについての詳細は第６章の「トラブルシューティング」をご参照ください。

バックライト

3色のバックライトLCDを採用しています。離れた場所からでもプリンタの状態をひと目で確認できます。

消灯	スリープ状態
緑色（待機）	待機中
	印刷準備中
	印刷
赤色（エラー）	プリンタに問題が発生
オレンジ色（設定）	メニュー設定
	再印刷の設定
	一時停止

❖　プリンタステータスメッセージ

通常動作中に表示されるプリンタステータスメッセージを下表に示します。

プリンタステータスメッセージ	意味
インサツデキマス	印刷可能な状態
ショリチュウ	データ処理中
スリープ	スリープ状態（省エネモード）
インサツチュウ	現在印刷中
セルフテスト	自己診断機能が作動中
テイシ	印刷を一時停止中。（Goキーを押すと再開されます）
ショキカチュウ	プリンタの設定が実行されています
オマチクダサイ	ウォームアップ中 （データ受付可能です）
RAMサイズ=XX MB	プリンタのメモリは XX MBです
ジョブキャンセル	ジョブをキャンセル中
カイゾウド チョウセイ	解像度を落とした状態で印刷中
SETキーヲ オス	Setキーを押すと印刷を開始します
コウジョウセッテイリセット	プリンタの設定を工場設定値に戻します

コントロールパネルの設定メニュー

本書においては、用紙トレイとLCDパネルは次のように名前が付けられています。

本体用紙トレイ	トレイ１
マルチパーパストレイ	MPトレイ

モードは全部で８つです。 各モード内のそれぞれ選択可能なメニューについては本章の該当ページをご覧ください。

インフォメーションモード
ヨウシモード
ガシツモード
セットアップモード
インサツモード
ネットワークモード
インタフェースモード
リセットメニューモード

❖　インフォメーションモード

設定メニュー	説明	
インサツ セッテイ	メニューと設定値のリストを印刷します。	
テスト インサツ	テストページを印刷します。	
ファイルリスト インサツ	ファイルリストを印刷します。	
フォント リスト	フォントリストとサンプルを印刷します。	
	サブ設定メニュー	説明
バージョン	SER.NO=#########	プリンタの製造番号
	ROM VER=####	ROM ファームウェアバージョン（ネットワークユーザのみ）
	ROM DATE ##/##/##	ROMバージョンの更新日（ネットワークユーザのみ）
	NET VER=####	ネットワークファームウェアバージョン
	NET DATE ##/##/##	ネットワーク日付
	RAM サイズ=###MB	本プリンタのメモリ容量
ドラム ノコリジュミョウ	ページカウンタ	=######
ＰＦキット1 ノコリジュミョウ		=######
テイチャクキ ノコリジュミョウ		=######
スキャナ ノコリジュミョウ		=######

❖ ヨウシモード

設定メニュー	説明
キュウシ	=オート / MP / トレイ1
トレイユウセンンジュンイ	=MP＞トレイ1/ トレイ1＞ＭＰ
MPトレイ ユウセン	=オフ / オン キュウシ設定がオートのとき、MPトレイからの給紙を優先します。MPトレイに紙が無ければ、次に優先順位が高く、データの紙サイズに一致したトレイから給紙されます。
MPトレイサイズ	=フリー / Ａ４ / レター / …
テサシ	=オフ / オン テサシ設定がオンのとき、データがプリンタに送られると、MPトレイに設定されている紙のサイズにかかわらず、MPトレイから給紙されます。MPトレイに紙が無ければ、紙をセットするようにメッセージが表示されます。
トレイ1サイズ	=フリー / Ａ４ / レター / …
リョウメンインサツ	=オフ / オン (チョウヘン トジ：長辺を綴じる) / オン (タンペン トジ：短辺を綴じる)

❖ ガシツモード

設定メニュー	説明
カイゾウド	=300/600/HQ1200 印刷解像度は 300, 600 もしくは HQ1200 (2400x600 dpi)から選択できます。
HRC	= オフ / ジャク / チュウ / キョウ HRC: 高解像度制御（High Resolution Control）は解像度が300または600 dpiであっても高品質な文字やグラフィックスを印刷します。
トナー セツヤク	=オフ / オン
インサツ ノウド	=-6:0:6 印刷濃度を調整します。

セットアップモード

設定メニュー	説明	
ゲンゴ センタク	=ニホンゴ / ENGLISH / …	
ヒョウジ ノウド	=0/1/2	
デンリョクセツヤク ジカン	=1:99フン	
エラーカイジョ	=オフ / オン	
パネル ロック	=オフ / オン パネルロックをオンにすると、パネル上での設定変更ができなくなります。 オフにするためにはパスワードが必要ですので、忘れないようにしてください。	
	パスワード=###	
リプリント	=オン / オフ	
ページプロテクト	プロテクト = オート	オート、オフ、レター、A4、リーガル
エミュレーション	=オート / HP LASERJET/….	
PCLホゾン	=オフ / オン	
RAM ディスクサイズ	=0/1/2…MB	リスタート？
キオク ショウキョ	内蔵フラッシュメモリから印刷データを削除します。.	
	サブ設定メニュー	**説明**
	セキュリティ ファイル	ユーザ名、ジョブ名、パスワードを選択します。
	DATA ID	=####
	マクロ ID	=####
	フォント ID	=####
	フォーマット	OK?

❖ インサツモード

<table>
<tr><th>設定メニュー</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>ヨウシ シュルイ</td><td>=フツウシ（アツメ） / アツガミ / アツガミ2 / OHP / フツウシ / ボンドペーパー / …</td></tr>
<tr><td>ヨウシ</td><td>=レター / リーガル / A4 / A5 / A6 / JIS B5 / B6 / エグゼクティブ/ COM10 / モナーク/ C5 / DL / …</td></tr>
<tr><td>ブスウ</td><td>=1:999
印刷枚数を示します。（プリンタの電源をオン／オフするたびにデフォルト設定に戻ります。）</td></tr>
<tr><td>インサツホウコウ</td><td>=タテ/ヨコ
本プリンタは用紙を縦方向または横方向で印刷できます。</td></tr>
<tr><td>インジ イチ</td><td>本プリンタはページ書式に合わせて印刷位置を補正できます。
<table>
<tr><th>サブ設定メニュー</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>X オフセット</td><td>300 dpi 換算で、印刷開始位置（ページの左上隅）を水平方向に最大–500（左）から +500（右）ドットまで移動します。</td></tr>
<tr><td>Y オフセット</td><td>300 dpi 換算で、印刷開始位置（ページの左上隅）を上下方向に最大–500（上）から +500（下） ドットまで移動します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>オートフォームフィードタイム</td><td>=オフ/1:5:99 (sec)
Goキーを押さずに残りのデータを印刷できるようにします。</td></tr>
<tr><td>FF ヨクセイ</td><td>=オフ/オン
給紙抑制機能をオン／オフします。</td></tr>
</table>

❖　インサツモード（続き）

設定メニュー	説明	
HP LASERJET	サブ設定メニュー	説明
	フォント NO.	=I0000:?????
	フォント ピッチ/ポイント	=???.??
	コードテーブル	PC-8/… シンボルセットまたはキャラクタセットを設定します。
	コードテーブルインサツ	プリントコード表を印刷します。
	オートLF	=オフ/オン オン: CR→CR+LF, オフ: CR→CR
	オートCR	=オフ/オン オン: LF→LF+CR, FF+CR, または VT→VT+CR オフ: LF→LF, FF→FF, または VT→VT
	オートラップ	=オフ/オン プリンタが右マージンに到達すると自動改行します。
	オートスキップ	=オン/オフ プリンタが下マージンに到達すると自動改行します。
	ヒダリ マージン	=#### １インチ10文字ピッチで左マージンを0 桁～126 桁に設定します。
	ミギ マージン	=#### １インチ10文字ピッチで右マージンを10桁～136 桁に設定します。
	ウエ マージン	=#### 上部マージンを用紙端から0、0.33、0.5、1.0、1.5または2.0インチに設定します。（工場設定値は0.5インチ）

設定メニュー	説明	
HP LASERJET （続き）	シタ マージン	=#### 下部マージンを用紙端から0、0.33、0.5、1.0、1.5または2.0インチに設定します。 工場設定: 0.5インチ
	ギョウスウ	=#### ページの印刷行数を 5行～128行の範囲で設定します。

❖　ネットワークモード

設定メニュー	説明	
TCP/IP	サブ設定メニュー	説明
	TCP/IP	=オン/オフ
	IP アドレス =	###.###.###.###
	サブネット マスク	###.###.###.###
	ゲートウェイアドレス=	###.###.###.###
	IP セッテイリトライ	=#
	IP セッテイホウホウ	=オート/コテイ/RARP/BOOTP/DHCP
NETWARE	NETWARE	=オン/オフ
	フレームタイプ	=オート/8023/ENET/8022/SNAP
APPLETALK オン/オフ	=オン/オフ	
NETBEUI オン/オフ	=オン/オフ	
DLC/LLC オン/オフ	=オン/オフ	
BANYAN オン/オフ	=オン/オフ	
LAT オン/オフ	=オン/オフ	
NETBIOS/IP オン/オフ	=オン/オフ	
イーサネットモード	=オート/100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD	

❖ インタフェースモード

<table>
<tr><th>設定メニュー</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td>オートインタフェースタイム</td><td colspan="2">= 1:5:99 (sec)
自動インタフェース選択機能のタイムアウト時間を設定します。</td></tr>
<tr><td>バッファ</td><td>= レベル1:5:15
入力バッファ容量を増減します。</td><td>プリンタ リスタート？</td></tr>
<tr><td rowspan="3">パラレル</td><td colspan="2">パラレルインタフェースを使用している場合</td></tr>
<tr><td>サブ設定メニュー</td><td>説明</td></tr>
<tr><td>ハイスピード</td><td>=オン/オフ
高速パラレル通信をオン／オフします。</td></tr>
<tr><td>ソウホウコウ</td><td>=オン/オフ
双方向パラレル通信をオン／オフします。</td></tr>
</table>

❖ リセットメニューモード

設定メニュー	説明
プリンタ リセット	プリンタをリセットし、プリンタのすべての設定（コマンド設定を含む）をコントロールパネルのキーで行った以前の設定に戻します。
コウジョウ リセット	プリンタをリセットし、プリンタのすべての設定（コマンド設定を含む）を工場デフォルト設定に戻します。 「デフォルト設定のリスト」をご参照ください。

注

インタフェースモード、ＨＲＣ、ページプロテクト、スケーラブルフォント、パネルロック、ページカウンタ、ディスプレイの言語はリセットメニューのプリンタリセット、コウジョウリセットを使って初期値に戻すことができません。

デフォルト設定

プリンタの設定は出荷前に工場で設定されています。 これらの設定は「デフォルト設定」と呼ばれています。この設定を変更し、ご自分の使い方に合わせて独自の設定を行うことができます。

注

ユーザー設定を変更することによってデフォルト設定は影響を受けません。リセットされたデフォルト設定を変更することはできません。

変更したユーザー設定は、「リセットメニュー」モードによってデフォルトの設定に戻すことができます。詳細は、第３章「リセットメニューモード」をご参照ください。

❖　デフォルト設定のリスト

モード	メニュー	工場設定
ヨウシ	キュウシ	=オート
	トレイ ユウセンジュンイ	＝MP＞トレイ1
	ＭＰトレイユウセン	＝オフ
	ＭＰトレイサイズ	＝フリー
	テサシ	=オフ
	トレイ１サイズ	＝フリー
	リョウメンインサツ	=オフ
ガシツ	カイゾウド	=600
	HRC	=チュウ
	トナー セツヤク	=オフ
	インサツ ノウド	=0
セットアップ	ゲンゴ センタク	=ニホンゴ
	ヒョウジ ノウド	=0
	デンリョクセツヤク ジカン	=5 フン
	エラーカイジョ	=オフ
	パネルロック	=オフ
	リプリント	=オン
	ページプロテクト	＝オート
	エミュレーション	=オート
	PCLホゾン	=オフ

モード	メニュー	工場設定
インサツメニュー	ヨウシ シュルイ	=フツウシ
	ヨウシ	=A4
	ブスウ	=1
	インサツ ホウコウ	=タテ
	インジ イチ	X オフセット=0 Y オフセット=0
	オートフォームフィードタイム	=オフ
	FF ヨクセイ	=オフ
	HP LASER JET	フォント NO.（フォント番号）= I 059
		フォントピッチ=10.00/12.00
		コードテーブル=PC-8
		オートLF=オフ
		オート CR（自動キャリッジリターン）=オフ
		オートラップ=オフ
		オートスキップ=オン
		ヒダリ マージン=####
		ミギ マージン=####
		ウエ マージン=####
		シタ マージン=####
		ギョウスウ=####

モード	メニュー	工場設定
ネットワーク	TCP/IP	TCP/IP オン/オフ=オン
		IP アドレス=192.0.0.192
		サブネット マスク=0.0.0.0
		ゲートウェイアドレス=0.0.0.0
		IP セッテイリトライ=3
		IP セッテイホウホウ=オート
	NETWARE	NETWARE オン/オフ=オン
		フレームタイプ=オート
	APPLETALK オン/オフ	=オン
	NETBEUI オン/オフ	=オン
	DLC/LLC オン/オフ	=オン
	BANYAN オン/オフ	=オン
	LAT オン/オフ	=オン
	NETBIOS/IP オン/オフ	=オン
	イーサネットモード	=オート

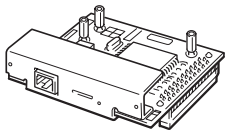
注

- 設定はエミュレーションモードに依存しています。
- コピー設定は、プリンタの電源をオン／オフするたびにデフォルト設定に戻ります。
- ネットワークの設定はコントロールパネルでリセットすることはできません。パスワードやIPアドレス情報など、既に設定している情報をリセットしたい場合には、ネットワークボード（CP-LA200）のネットワークテストボタンを５秒以上押し続けてください。詳細はネットワーククイックセットアップガイドをご覧ください。

第4章
オプション

オプションの種類

- **オプション**

ネットワークボード
CP-LA200


オプションの購入方法

ネットワークボードをご購入する際には、プリンタを購入した販売店にご相談ください。

ネットワークボード

このオプションの製品名はCP-LA200です。
このオプションはCP-B200用です。CP-B200にこのネットワークボードを取り付けると、ネットワークプリンタとしてお使いいただけます。

ネットワークプリンタの管理ツール（BRAdmin Professional）やその他のネットワーク印刷用のソフトウェアは、プリンタ本体に同梱されているCD-ROMからインストールできます。
これらのソフトウェアについての詳細は、ネットワーク取扱説明書をご参照ください。

ネットワークボードの取り付け方

☛ 1. プリンタの電源スイッチを切り、電源コードやインタフェースケーブル（プリンタケーブル）をプリンタから取り外します。

☛ 2. インタフェースカバーをスライドさせ、取り外します。

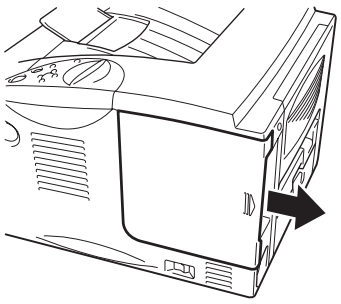


図 4-4

☛ 3.　基板プレートを固定している２本のねじをゆるめ、プレートを取り外します。

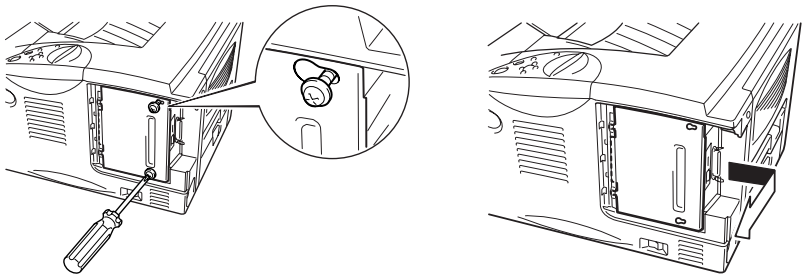


図 4-5

☛ 4.　ネットワークボードカバープレートを固定しているねじを取り外し、プレートを取り外します。

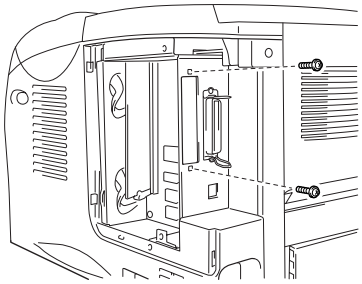


図 4-6

☛ 5.　ネットワークボードを開封します。

☛ 6. ネットワークボードのコネクタをメインボードに挿入し、手順4で取り外した2本のねじで固定します。

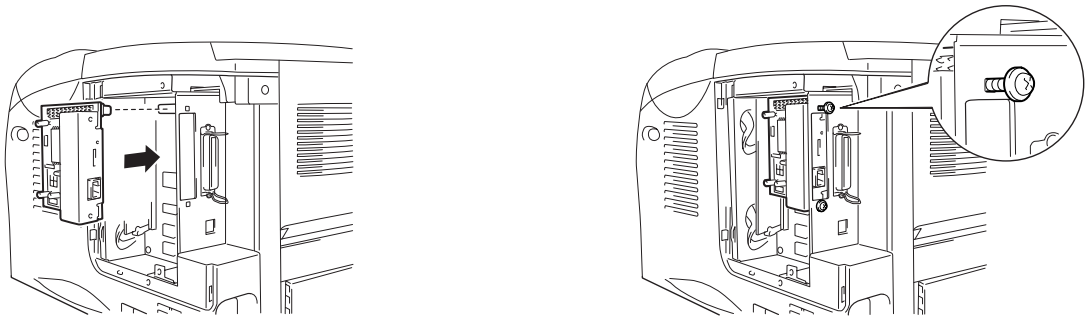


図 4-7

☛ 7. 基板プレートを再び取り付け、手順3でゆるめた2本のねじで固定します。

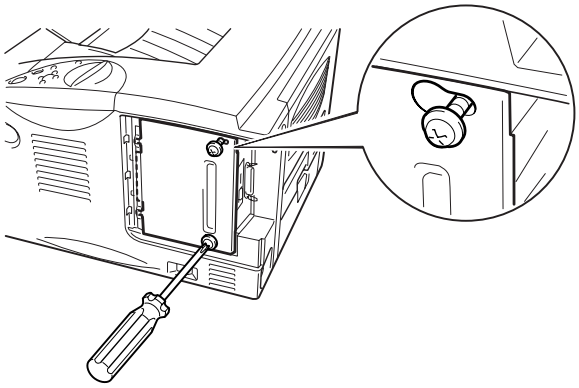


図 4-8

☛ 8.　　インタフェースカバーを取りつけます。

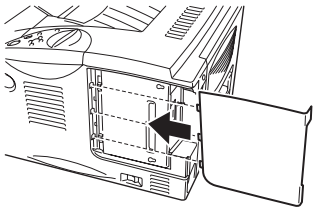


図 4-9

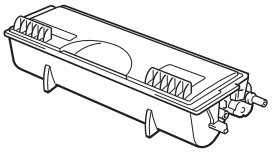
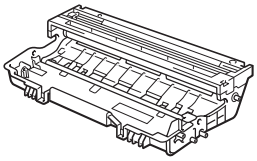
☛ 9.　　電源コードをコンセントに挿入し、電源スイッチを入れます。

第5章
日常のメンテナンス

消耗品の種類

このプリンタには次のような消耗品があります。

♦ **消耗品**

トナーカートリッジ	ドラムユニット
	

❖ トナーカートリッジについて

製品名はCP-B2TSです。
トナーカートリッジの寿命は、印刷面積比や印刷ジョブによって異なります。一般的なビジネス文書（印刷面積比約5%）をA4／レターサイズの用紙に片面印刷した場合、約6,500枚の印刷が可能です。

注

- トナー消費量は、ページ上の印刷面積比と印刷濃度設定によって異なります。
- 印刷面積比が大きいほど、トナー消費量は増大します。
- 新品のトナーカートリッジは交換するときまで開封しないでください。
- 最適の印刷品質を保証するため、必ずカシオ純正トナーカートリッジをご使用ください。純正品以外のご使用は、印字品質の低下だけでなく、プリンタの故障の原因になることがあります。トナーカートリッジの入手方法については、プリンタを購入した販売店にご相談ください。

「トナー ノコリワズカ」メッセージ

（５秒間隔で表示）

トナー ノコリワズカ

このメッセージを表示されたときは、トナーカートリッジの残量が少ないことを表しています。トナーカートリッジが完全になくなる前に、新しいカートリッジを購入してください。

「トナーナシ」メッセージ

LCDに「トナーナシ」メッセージが出た場合には、プリンタのトナーがなくなり、これ以上印刷できません。 印刷を再開するには、新しいトナーカートリッジに交換する必要があります。

❖ トナーカートリッジの交換

☛ **1.** カバーオープンボタンを押し、フロントカバーを開けます。

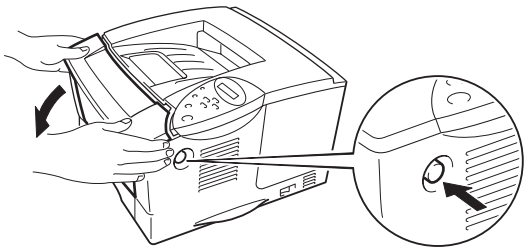


図 5-1

☛ 2.　ドラムユニットをプリンタから取り出します。

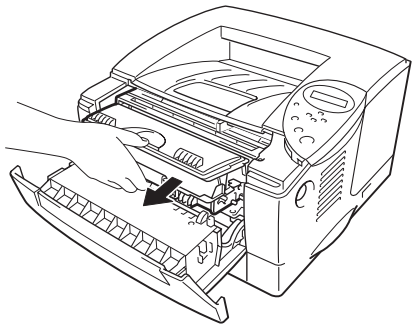
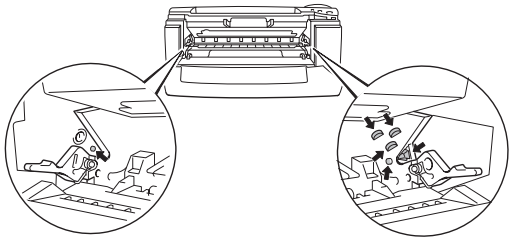


図 5-2

注意

- トナーが飛散するおそれがありますので、ドラムユニットは、汚れても良い紙か布の上に置くことをおすすめします。
- 静電気によってプリンタが損傷することを防ぐため、プリンタの電源が入っているときには、下図に示す部分（電極）に触れないでください。



☛ 3.　ロックレバーを押し下げながら、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外します。

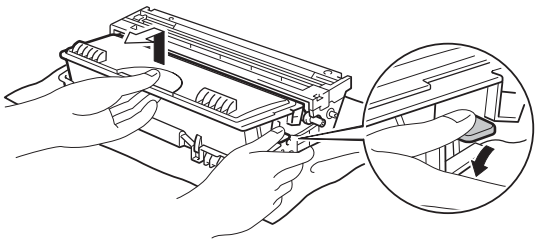


図 5-3

注意

トナーは人体に無害ですが、トナーカートリッジの取り扱いは十分にご注意ください。万一、トナーが手や衣服に掛かった場合には、すぐに濡れた布で拭き取るか、水で洗い流してください。万一目に入ったときは、すぐに水で洗い流し、眼科医の診察を受けてください。

注

- 使い終わったトナーカートリッジは、トナーが飛散しないように袋に入れて確実に密封してください。
- トナーカートリッジを廃棄する場合には、その地域の自治体のプラスチック廃棄物規則に従ってください。

☛ 4. 新しいトナーカートリッジを開封します。

☛ 5. トナーカートリッジを水平に保ち、静かに5、6回左右に振り、中のトナーを均一にします。

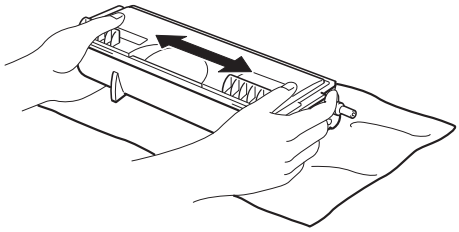


図 5-4

注意

- 新品のトナーカートリッジは交換するときまで開封しないでください。トナーカートリッジを長期間、開封したまま放置すると、トナーの寿命が短くなります。
- カシオ純正トナーカートリッジを使用してください。 純正カートリッジは最適の印刷品質を保証します。
- 他社製のトナーまたはトナーカートリッジを使用して印刷すると、印刷品質が低下するだけでなく、プリンタ自体の性能が低下したり、寿命が短くなる可能性があります。 他社製のトナーやトナーカートリッジを使用した場合、あるいは他社製のドラムユニットを使用した場合には、保証の対象にはなりません。

☛ 6.　保護カバーを取り外します。

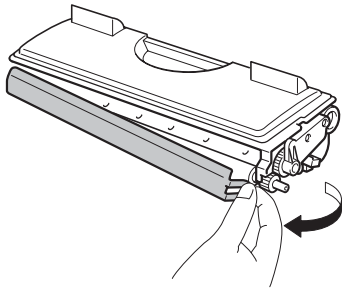


図 5-5

注意

保護カバーを取り外した後は、すぐにドラムユニットに取り付けてください。下図のグレーの部分には触れないでください。

☛ 7.　新しいトナーカートリッジをドラムユニットに取り付けます。正しくセットされるとロックレバーが「カチッ」と音を立てて上がります。

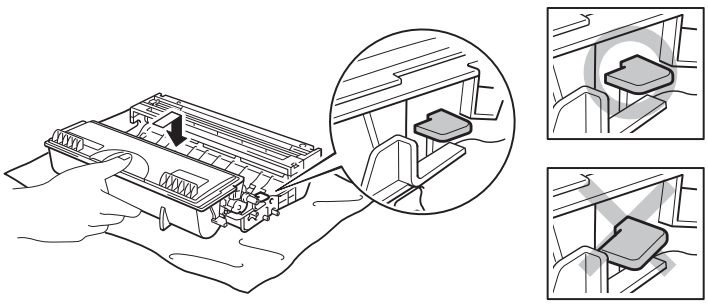


図 5-6

注意

トナーカートリッジが正しく取り付けられていない場合、ドラムユニットを持ち上げたときにトナーカートリッジがドラムユニットから外れることがあります。

☛ 8.　ドラムユニットにある青色のタブを２、３回往復させ、ドラム内部のワイヤーを清掃します。タブをホームポジションの位置に戻してからドラムユニットをプリンタ本体に取り付けてください。

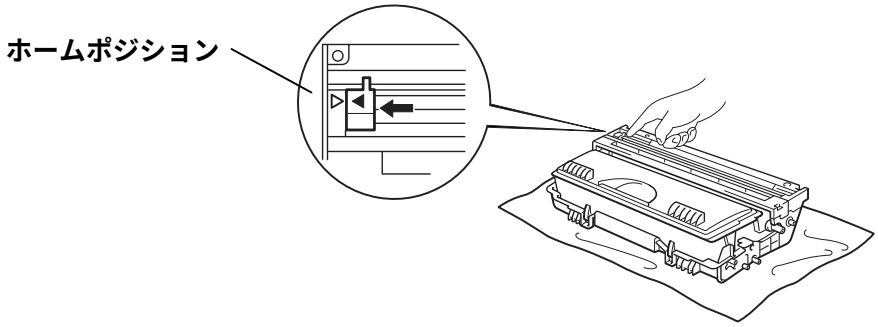


図 5-7

注意

ドラムユニットをプリンタに取り付ける前に、必ずタブがホームポジション（▲）にあることを確認してください。 ホームポジションに戻っていないと、印刷した用紙に縦縞が入る場合があります。

☛ 9.　ドラムユニットをプリンタに取り付けます。

☛ 10.　フロントカバーを閉じます。

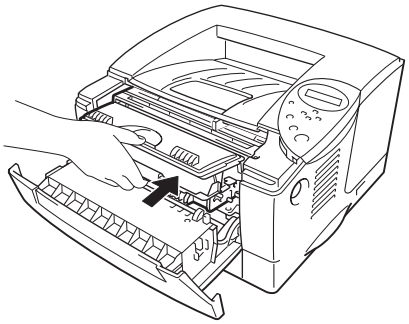


図 5-8

注

トナーカートリッジを交換した後には、プリンタの清掃を行うことをおすすめします。本章の「クリーニング」をご参照ください。

❖　「ドラム ノコリワズカ」メッセージ

ドラム ノコリワズカ

LCDがこのメッセージを表示した場合には、ドラムユニットの寿命が終わりに近いことを表しています。このメッセージが表示されると、印刷品質が劣化する恐れがあるので、お早めにドラムユニットを交換することをおすすめします。

❖　ドラムユニットの交換

製品名はCP-B2DSです。
このプリンタは１個のドラムユニットで約20,000 枚[*1]の印刷を行うことができます。

[*1] これは5%の印刷面積比で印字した場合です （A4-レターサイズ用紙） 実際の印刷枚数は平均的な印刷ジョブの種類や使用する用紙によって異なります。

注

ドラムの寿命に影響する要因は、温度や湿度、用紙の種類、使用するトナーの種類、印刷ジョブごとの印刷枚数など、数多くあります。 実際のドラムの印刷可能枚数は、印刷条件によってはこの数字よりも大幅に少ないこともあります。このため、実際の印刷可能枚数を保証することはできません。
最良の性能を発揮させるために、カシオ純正トナーだけを使用してください。
プリンタは、清潔で塵埃が発生せず、適度の換気が行われている環境で使用してください。

☛ 1.　カバーオープンボタンを押し、フロントカバーを開けます。

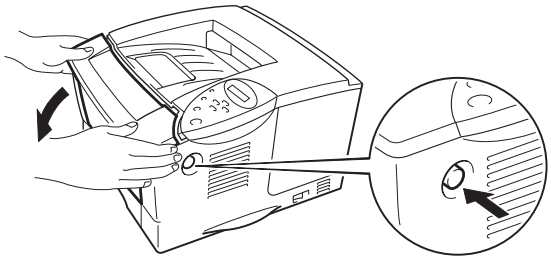


図 5-9

☛ 2.　ドラムユニットをプリンタから取り出します。

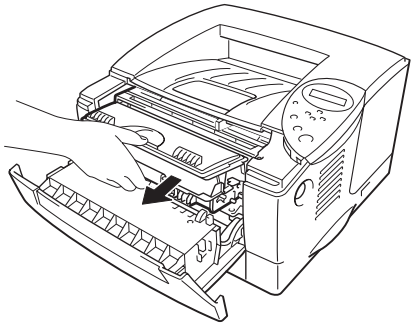
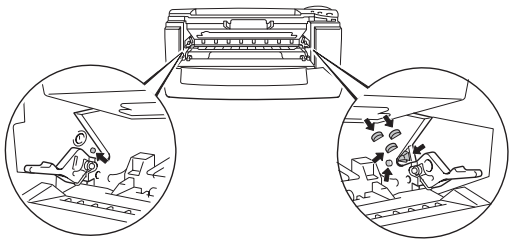


図 5-10

注意

- トナーが飛散するおそれがあるので、ドラムユニットは、汚れても良い紙か布の上に置くことをおすすめします。
- 静電気によってプリンタが損傷することを防ぐため、プリンタの電源が入っているときには、下図に示す部分（電極）に触れないでください。



☛ 3.　ロックレバーを押し下げながら、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外します。

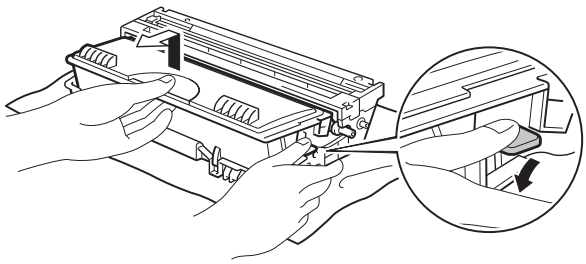


図 5-11

注意

トナーは人体に無害ですが、トナーカートリッジの取り扱いは十分にご注意ください。万一、トナーが手や衣服に掛かった場合には、すぐに濡れた布で拭き取るか、水で洗い流してください。万一目に入ったときは、すぐに水で洗い流し、眼科医の診察を受けてください。

注

- 使い終わったトナーカートリッジを廃棄する場合には、その地域の自治体の規則に従って行ってください。
- 使い終わったドラムユニットは、トナーが飛散しないように、袋に入れて確実に密封してください。

☛ 4.　新しいドラムユニットを開封します。

注意

ドラムユニットは交換するときまで開封しないでください。 ドラムユニットを開封してから強い直射日光または室内光線に当てつづけると、ユニットが損傷する場合があります。

☛ 5.　トナーカートリッジを新しいドラムユニットに取り付けます。正しくセットされるとロックレバーが「カチッ」と音を立てて上がります。

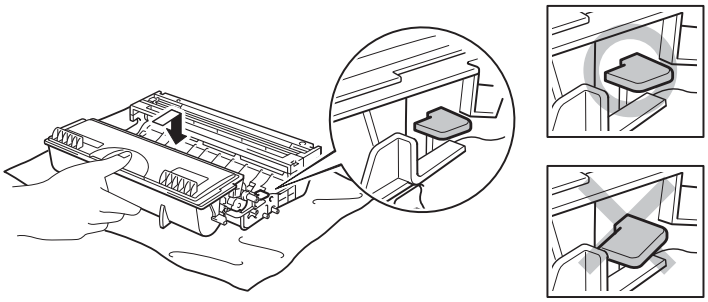


図 5-12

注意

トナーカートリッジが正しく取り付けられていない場合、ドラムユニットを持ち上げたときにトナーカートリッジがドラムユニットから外れることがあります。

☛ 6.　ドラムユニットをプリンタに取り付けます。

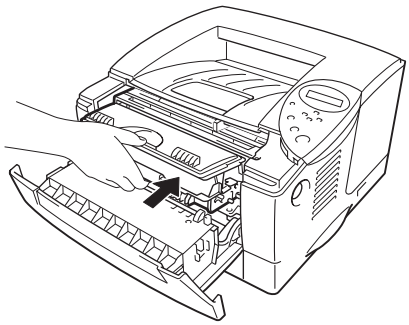


図 5-13

☛ **7.　フロントカバーを閉める前に、ドラムカウンターをリセットするためにコントロールパネルのGoキーを4秒間押し続けます。**

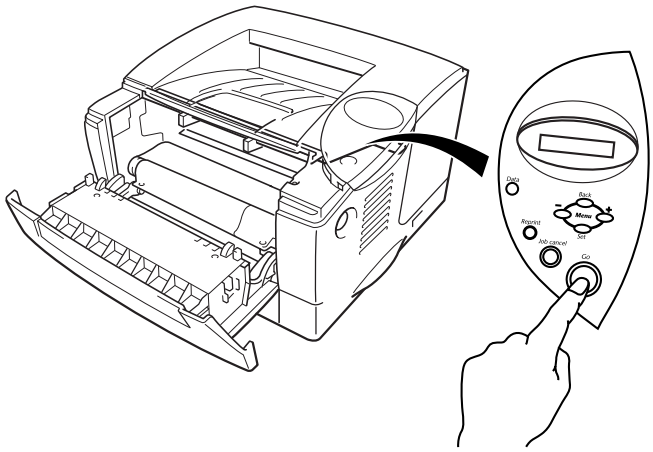


図 5-14

注

トナーカートリッジだけを交換する場合は、ドラムカウンタのリセットは行わないでください。

☛ **8.　Drumランプが消えていることを確認し、フロントカバーを閉じます。**

注

トナーカートリッジを交換した後には、プリンタの清掃を行うことをおすすめします。本章の「クリーニング」をご参照ください。

プリンタを清掃する

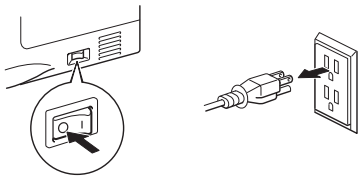
プリンタの外部と内部は日常的定期的に清掃してください。 印刷した用紙がトナーで汚れている場合には、プリンタ内部とドラムユニットを清掃します。

❖ プリンタ外部のクリーニング

☛ 1. プリンタの電源スイッチを切り、電源コードを抜いてください。

警告

プリンタの内部には高電圧の電極があります。 プリンタを清掃する前には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。



☛ 2. 湿った布でプリンタ外部の汚れや塵を拭き取ります。 プリンタの外部が完全に乾燥するまで待ちます。

注

クリーニングには水または中性洗剤を使用してください。 シンナーやベンジンなどの揮発性液体を使用すると、プリンタの表面が損傷します。
アンモニアを含有するクリーニング材料を使用しないでください。 このようなクリーニング材料はプリンタとトナーカートリッジを損傷します。

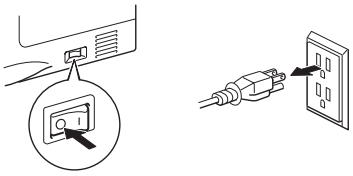
☛ 3. 電源コードを接続し、プリンタの電源スイッチを入れます。

❖　プリンタ内部の清掃

☛ 1.　プリンタの電源スイッチを切り、電源コードを抜いてください。

警告

プリンタの内部には高電圧の電極があります。 プリンタを清掃する前には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。



☛ 2.　カバーオープンボタンを押し、フロントカバーを開きます。

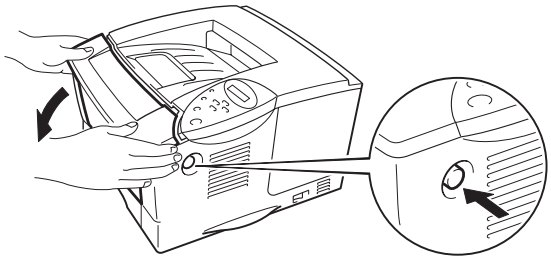


図 5-15

☛ 3.　ドラムユニットをプリンタから取り出します。

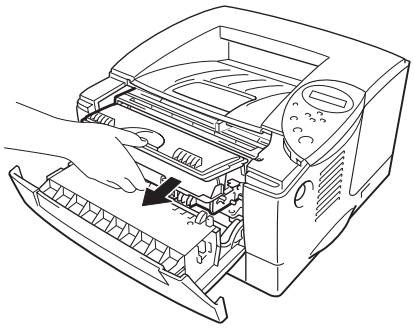


図 5-16

注意

ドラムユニットの取り扱いには十分にご注意ください。 内部にトナーが格納されているからです。 トナーが散乱して手や衣服が汚れた場合には、濡れた布で拭き取るか、水で洗い流してください。

注

トナーが飛散する恐れがあるので、ドラムユニットは、使い捨ての紙か布の上に置くことをおすすめします。

☛ 4.　乾燥した柔らかい布でスキャナガラス（下図に示すグレーの部分）を拭きます。

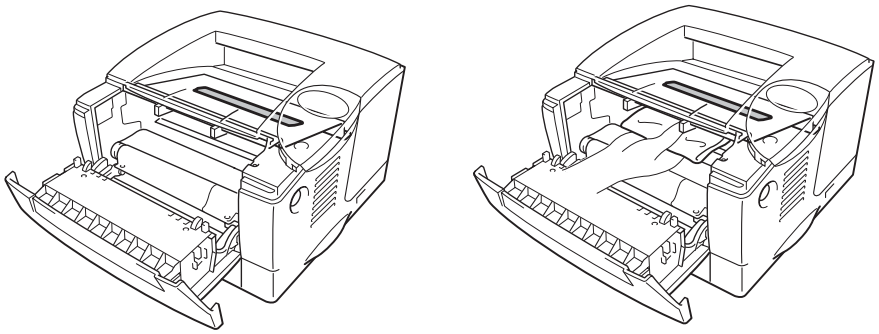
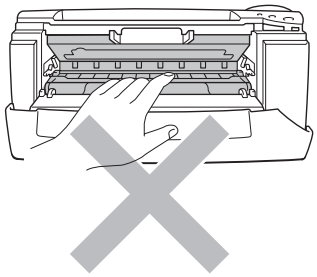


図 5-17

警告

プリンタを使用した直後は、プリンタ内部の一部部品はきわめて高温になっています!　プリンタのカバーを開けるとき、下図に示すグレーの部分には絶対に触れないでください。



注意

- **スキャナガラスには指で直接触れないでください。**
- **スキャナガラスをアルコールで拭かないでください。**

☛ **5.　ドラムユニットをプリンタに再び取り付けます。**

☛ **6.　フロントカバーを閉じます。**

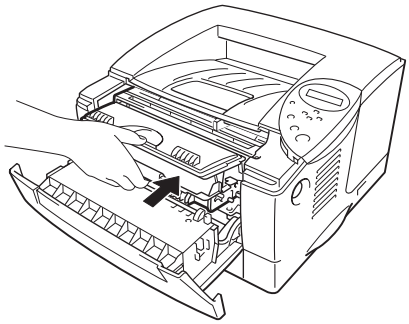


図 5-18

❖ *ワイヤーのクリーニング*

☛ 1. カバーオープンボタンを押し、フロントカバーを開けます。

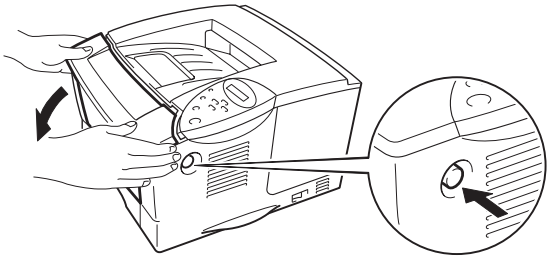


図 5-19

☛ 2. ドラムユニットをプリンタから取り出します。

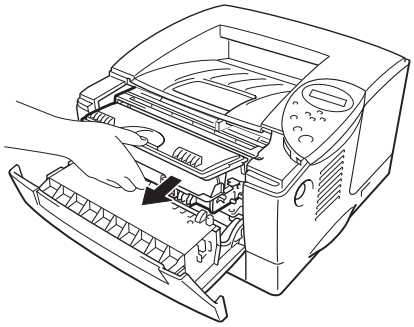
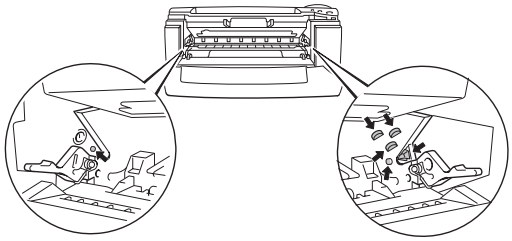


図 5-20

注意

- トナーが飛散する恐れがあるため、ドラムユニットは、使い捨ての紙か布の上に置くことをおすすめします。
- 静電気によってプリンタが損傷することを防ぐため、下図に示す部分(電極)には触れないでください。



☛ 3.　ドラムユニットにある青色のタブを２、３回往復させ、ドラム内部のワイヤーを清掃します。タブを必ずホームポジションの位置に戻してからドラムユニットをプリンタ本体に取り付けてください。

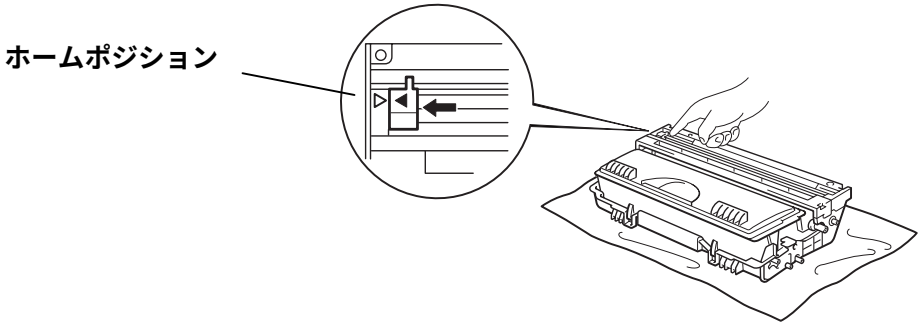


図 5-21

注意

ドラムユニットをプリンタに取り付ける前に、必ずタブがホームポジション（▲）にあることを確認してください。 ホームポジションに戻っていないと、印刷した用紙に縦縞が入る場合があります。

☛ 4.　ドラムユニットをプリンタに再び取り付けます。

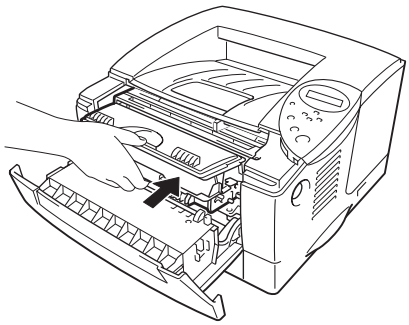


図 5-22

☛ 5.　フロントカバーを閉じます。

定期保守部品について

定期保守部品の種類と取り扱いについて説明します。
以下のメッセージは保守部品の交換が必要になった場合にＬＣＤに表示されます。最適の印刷品質を確実に保つために、このメッセージが現れたら、お買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンターにご相談ください。

LCD メッセージ	項目	概算寿命
テイチャクキ コウカン	定着器	80,000枚
PF キット１ コウカン	給紙キット	50,000枚
レーザースキャナ コウカン	スキャナ装置	200,000枚

＊ 上記の概算寿命は、典型的なビジネス文書（印刷面積比約5%）をA4／レターサイズの用紙に片面印刷した場合の平均的な数値です。 したがって、印刷面積比や印刷ジョブによってこれらの数値は異なります。
＊ 保守部品の交換の詳細については、カシオテクノ・コールセンターにお問い合わせください。
＊ 定期保守部品の交換は、保障期間中でも有償です。

第6章
トラブルシューティング

LCDのメッセージ

エラーメッセージ

エラーメッセージ	処置
トナーノコリワズカ	トナーの残りがわずかです。「トナーナシ」メッセージが表示される前に、新しいトナーカートリッジを準備して下さい。
トナーナシ	トナーがありません。トナーカートリッジを新しいものと交換してください。 第５章の「トナーカートリッジの交換」をご参照ください。 トナーカートリッジを交換しても「トナーナシ」メッセージが消えないときは、ドラムユニットのワイヤーのクリーニングを行ってください。 トナーカートリッジを交換しても「トナーナシ」メッセージが消えないときは、トナーがカートリッジ内部で均一に散布されていないおそれがあります。トナーカートリッジを水平に保ち、静かに５、６回降ってください。
ドラムノコリワズカ	ドラムユニットの寿命が近づいています。印字品質が低下する前に、新しいドラムユニットと交換して下さい。
カミナシ XXXX (XXXX はトレイ 1 または MP(マルチパーパス トレイ等をさします)	プリント用紙を、それぞれの給紙トレイに入れて下さい。
カバーオープン	フロントカバーを閉じてください。
テイチャク オープン	紙づまり除去カバーを閉じてください。
ハイメンハイシ オープン	背面排紙トレイを閉じてください。
フェイスアップオープン	背面排紙トレイを閉じてください。
カミヅマリ XXXXXX	指定された場所からつまった紙を取り除いてください。本章の「紙づまりとつまった紙の取り除き方」をご参照ください。
テサシ	マルチパーパストレイに正しいサイズの用紙をセットし、Goキーを押してください。
バッファフル	インターフェースの設定をチェックしてください。

エラーメッセージ	処置
キオクデバイスフル	不要なマクロやフォントを削除してください。
ダウンロードフル	不要なマクロを削除するか、マクロのサイズを調整してください。
フォントフル	不要なフォントを削除してください。
メモリフル	プリンタに残ったデータを印刷するため、Goキーを押します。 プリンタドライバのプロパティで解像度を落とすか、テキストを簡略化して下さい。
プリントオーバーラン	• プリンタに残ったデータを印刷するため、Goキーを押します。 • プリンタのメモリが不足しているおそれがあります。テキストを簡略化するか、プリンタドライバのプロパティで解像度を落としてください。 印字解像度の下げ方 1. 「スタート」メニューの「設定」から「プリンタ」を選択します。(Windows XPをご使用の場合は「スタート」メニューの「プリンタとFAX」を選択します。) 2. プリンタアイコン(CASIO SPEEDIA CP-B200)を右クリックし、プロパティを開きます。 3. 「拡張機能」タブを開きます。 4. 解像度設定を、600dpiもしくは300dpiにします。 • ページプロテクトを適正サイズに設定してください。 • （Windows 95/98/Meプリンタドライバをご使用の場合のみ）下記の設定を、Windowsドライバから変更し、再度実行して下さい。下記設定における最適な連動は、テキストの種類によります。 グラフィックモード TrueType設定
データムシ	正しいデータをプリンタに送ってください。

エラーメッセージ	処置
サイズエラーＤＸ	印刷可能な用紙サイズ（A4、レター、リーガル）を指定して下さい。
リョウメントレイナシ	両面印刷ユニットを正しく取り付けてください。
ＤＸレバーエラー	DXレバーとは、両面印字用紙サイズレバーのことを指します。 プリンタドライバでのサイズ設定、また印字するアプリケーション側でのサイズ設定が、 両面印字用紙サイズレバーで指定しているサイズと一致していない可能性があります。レバーは、本体背面の下側にあります。もし設定に間違いがあれば、レバーの位置を変更して下さい。
トレイ１ナシ	トレイ１に本体用紙カセットを取り付けてください。
ドラムユニット ソウジ	ワイヤーのクリーニングを行ってください。 第５章の「ワイヤーのクリーニング」をご参照ください。
ヨウシサイズ フイッチ	正しい用紙をトレイにセットしてください。

保守メッセージ

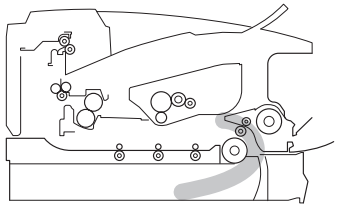
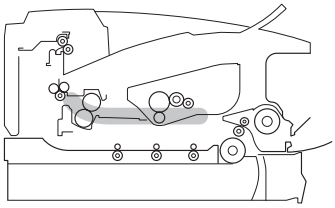
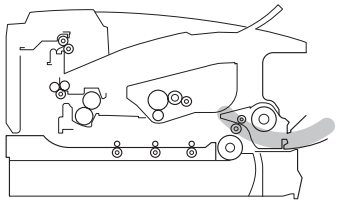
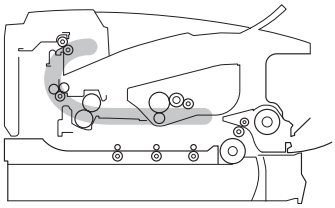
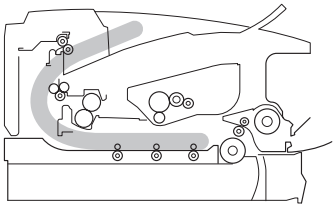
警告メッセージ	処置
ドラム ノコリワズカ	ドラムユニットの寿命が近づいています。 新しいドラムユニットを準備してください。 第５章の「ドラム ノコリワズカメッセージ」をご参照ください。
トナー ノコリワズカ	トナーの残りがわずかです。 新しいトナーカートリッジを準備してください。 第５章の「トナー ノコリワズカメッセージ」をご参照ください。
ＰＦキット１ コウカン	第５章の「定期保守部品について」をご参照ください。
テイチャクキ コウカン	第５章の「定期保守部品について」をご参照ください。
レーザースキャナー コウカン	第５章の「定期保守部品について」をご参照ください。

サービスコールメッセージ

以下のメッセージがLCDに表示されたら、プリンタの電源をオフにして5秒間待ちます。 それから、もう一度プリンタ電源スイッチを入れます。 それでもメッセージが表示される場合には、プリンタを購入した販売店にご相談くださるか、カシオテクノ・コールセンターにお問い合わせください。

紙づまりとつまった紙の取り除き方

プリンタに紙づまりが起こると、プリンタは印刷を停止して次のメッセージを表示します。
下図の影付きの部分は紙づまりが起こった場所を示します。

カミヅマリトレイ 1  6-7ページをご参照ください	**カミヅマリナイブ**  6-10ページをご参照ください
カミヅマリMPトレイ  6-9ページをご参照ください	**カミヅマリウシロ**  6-12ページをご参照ください
カミヅマリ 紙づまりが発生した可能性がある場所がいくつか存在しています。詳細については 6-19 ページの「紙づまり」をご参照ください。	**カミヅマリ リョウメン**  6-16ページをご参照ください

紙づまりの位置をチェックし、次ページ以降の指示に従ってつまった紙を取り除きます。

紙を取り除いた後、プリンタは自動的に印刷を開始します。

トレイ1の紙づまり

カミヅマリトレイ 1

紙づまりを解消するために以下の指示に従ってください。

☛ 1.　プリンタから本体用紙カセットを完全に引き抜きます。

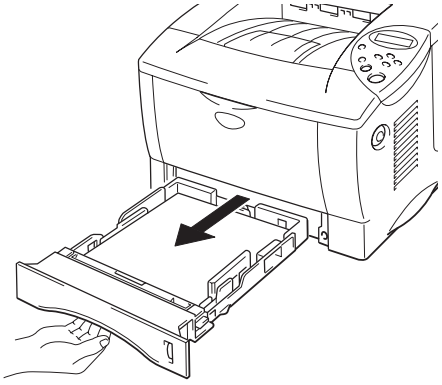


図 6-1

☛ 2.　つまっている紙を両手で持って、ゆっくり引っ張って取り除きます。

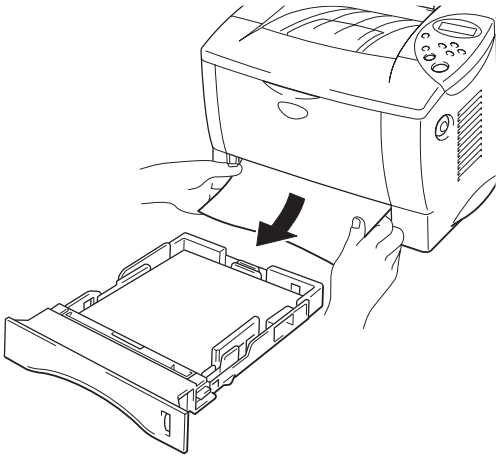


図 6-2

☛ **3.** 本体用紙カセットをプリンタに戻します。

注意

本体用紙カセットから用紙が給紙されている最中に本体用紙カセットを引き抜かないでください。 引き抜くと紙づまりが起こります。

MPトレイの紙づまり

カミヅマリ MP トレイ

紙づまりを解消するために以下の指示に従ってください。

☛ 1.　マルチパーパストレイからつまった紙を取り除きます。

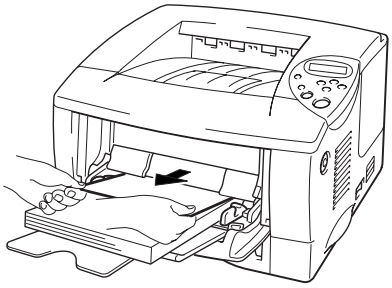


図 6-5

☛ 2.　用紙をマルチパーパストレイに再びセットします。

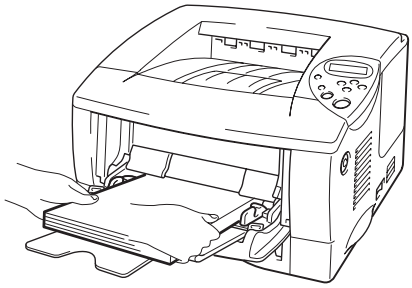


図 6-6

内部の紙づまり

カミヅマリナイブ

紙づまりを解消するために以下の指示に従ってください。

☛ 1.　本体用紙カセットをプリンタから完全に引き抜きます。

☛ 2.　カバーオープンボタンを押し、フロントカバーを開きます。

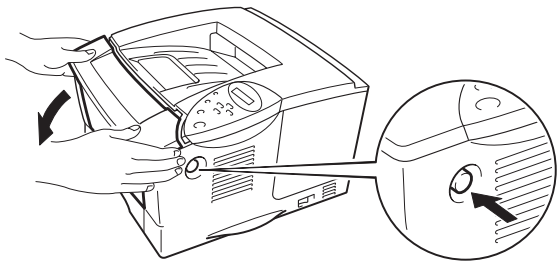


図 6-7

☛ 3.　ドラムユニットをプリンタから取り出します。

☛ 4.　つまった紙を両手でゆっくり引っ張り、プリンタから取り除きます。

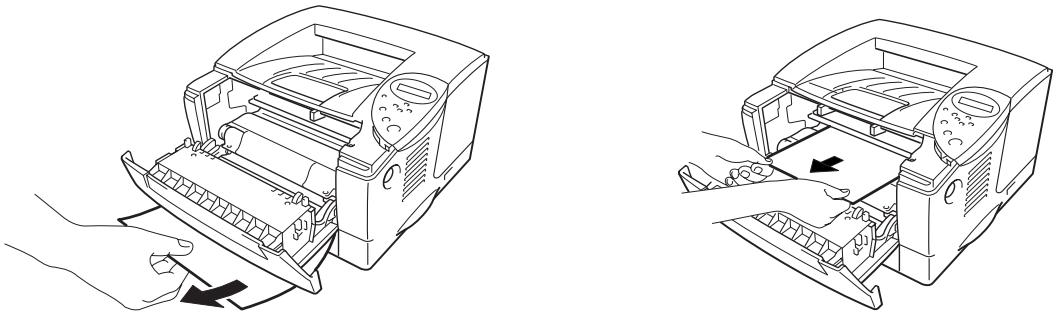


図 6-8

警告

印刷直後は、プリンタ内部がきわめて**高温**になっています。 紙を取り除く際には十分にご注意ください。

注意

- つまった紙を取り除いた後、印刷された用紙に汚れが見えるようならプリントジョブを再開する前に、何ページか印刷して下さい。
- トナーが飛散する恐れがあるため、ドラムユニットは、使い捨ての紙か布の上に置くことをおすすめします。
- つまった紙を取り除くときには、トナーが飛散しないように十分にご注意ください。
- 手や衣服がトナーで汚れないように注意してください。 汚れた場合にはすぐに濡れた布で拭き取るか、水で洗い流してください。

☛ 5.　ロックレバーを押し下げながら、ドラムユニットからトナーカートリッジをはずします。ドラムユニットに紙片が残っている場合は、取り除きます。

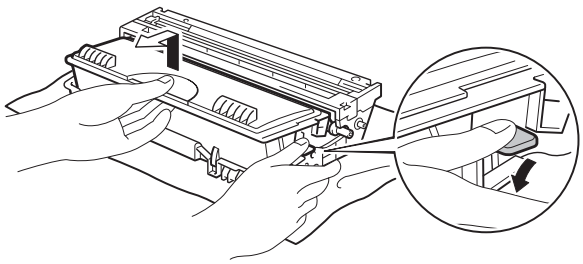


図 6-9

☛6.　ドラムユニットと本体用紙カセットをプリンタに戻し、フロントカバーを閉じます。

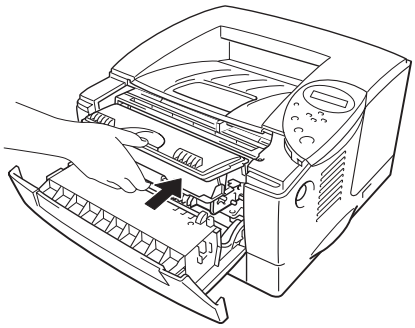


図 6-10

後部の紙づまり

カミヅマリ　ウシロ

紙づまりを解消するために以下の指示に従ってください。

☛ 1.　カバーオープンボタンを押し、フロントカバーを開きます。

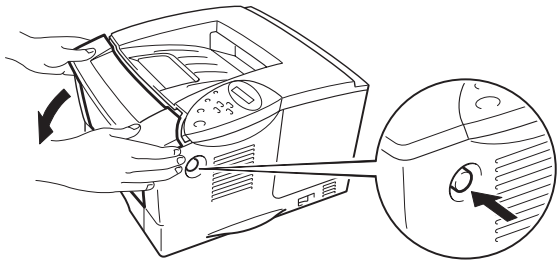


図 6-11

☛ 2.　ドラムユニットをプリンタから取り出します。

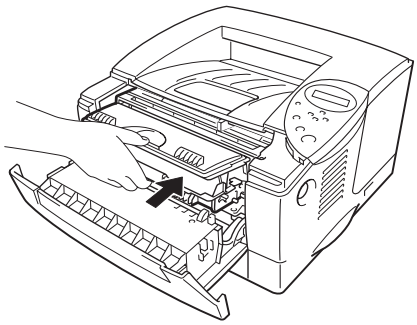
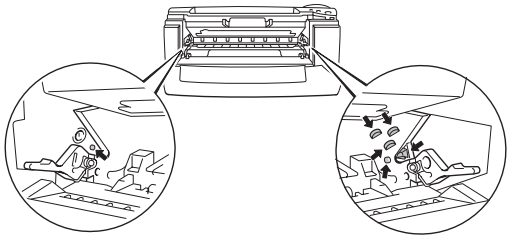


図 6-12

注意

- トナーが飛散する恐れがあるため、ドラムユニットは、使い捨ての紙か布の上に置くことをおすすめします。
- 静電気によってプリンタが損傷することを防ぐため、本体に電源が入っているときは、下図に示す部分(電極)に触れないでください。



☛ **3.**　つまった紙を両手でゆっくり引っ張り、プリンタから取り除きます。

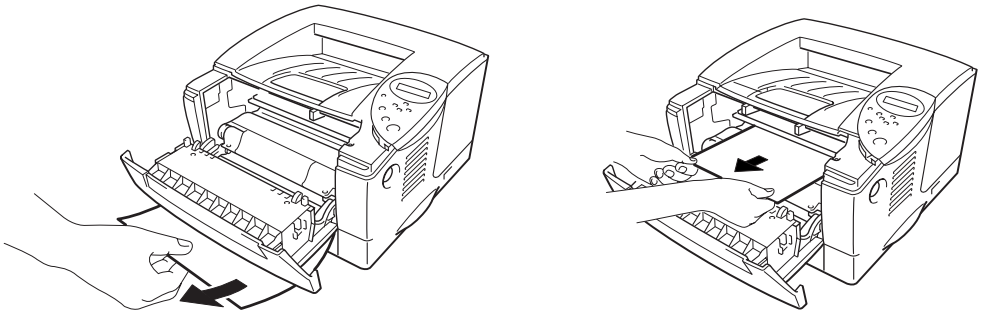


図 6-13

紙づまりが解消できたら、手順7に進みます。 紙を引っ張っても取り除けない場合は、手順4に進みます。

☛ **4.**　背面排紙トレイを開きます。

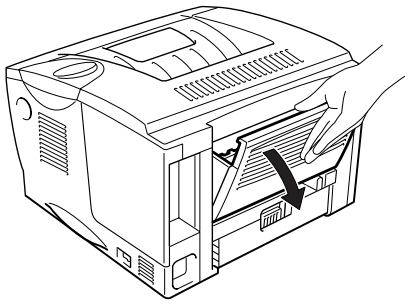
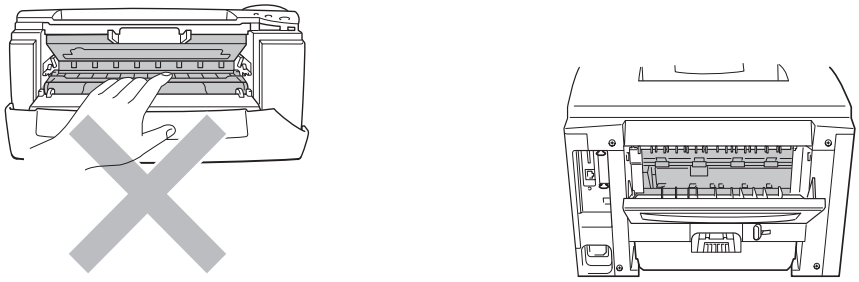


図 6-14

注意

印刷直後は、プリンタ内部の一部部品が**高温**になっています。プリンタのカバーを開けるとき、下図に示すグレーの部分には絶対に触れないでください。



☛ 5.　紙づまり除去カバーを開けます。 つまった紙をゆっくり引っ張り出します。

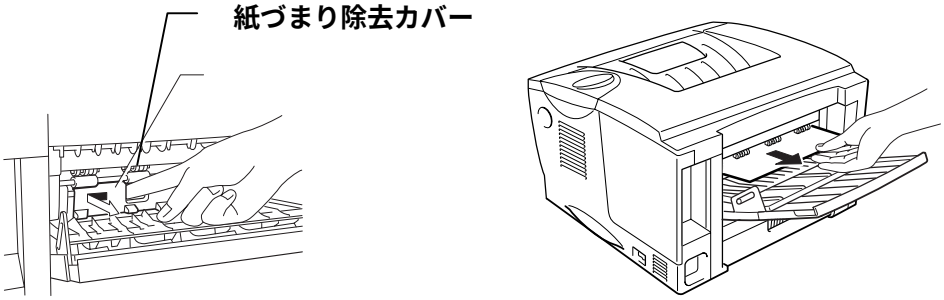


図 6-15

☛ 6.　紙づまり除去カバーを閉じ、背面排紙トレイを閉じます。

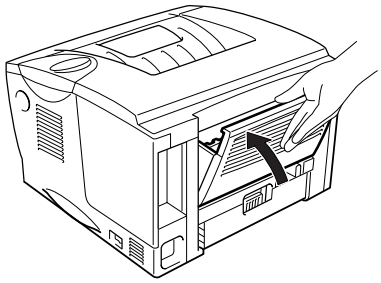


図 6-16

☛ 7.　ドラムユニットをプリンタに戻します。

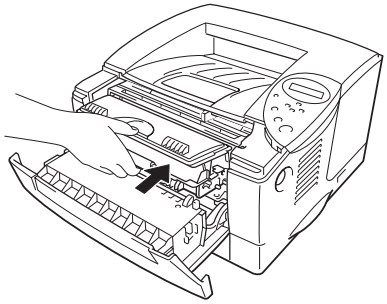


図 6-17

☛ 8.　フロントカバーを閉じます。

両面印刷ユニットの紙づまり

カミヅマリ　リョウメン

紙づまりを解消するために以下の指示に従ってください。

☛ 1.　背面排紙トレイを開きます。

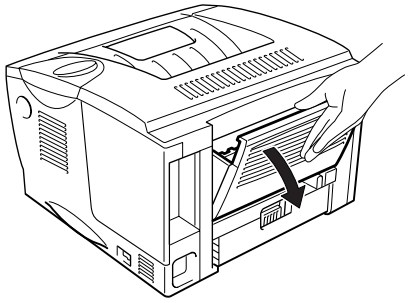


図 6-18

☛ 2.　つまった紙を定着器からゆっくり引っ張り出します。

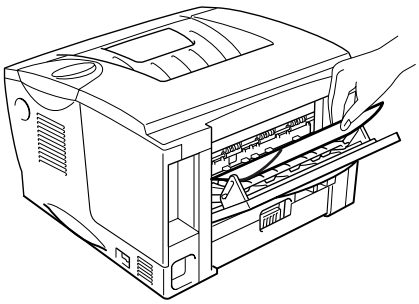


図 6-19

☛ 3.　背面排紙トレイを閉じます。

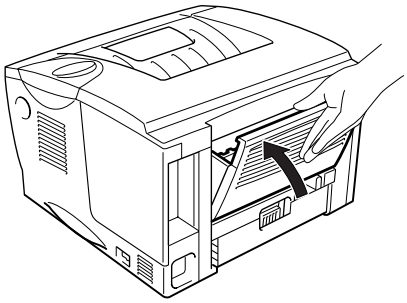


図 6-20

紙づまりを解消できない場合は、次の手順へと進みます。

☛ 4.　両面印刷ユニットと本体用紙カセットをプリンタから引き抜きます。

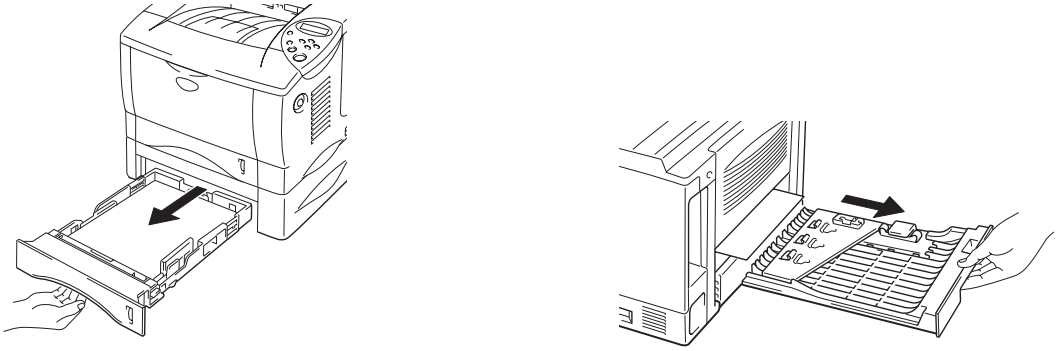


図 6-21

☛ 5.　つまった紙を両手でゆっくり引っ張って取り除きます。

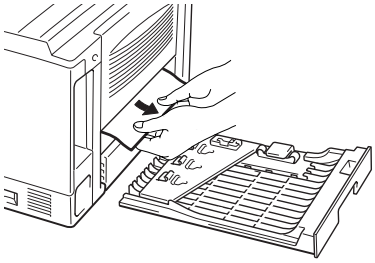


図 6-22

☛ 6.　両面印刷ユニットと本体用紙カセットをプリンタに戻します。

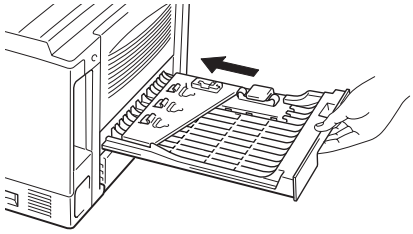
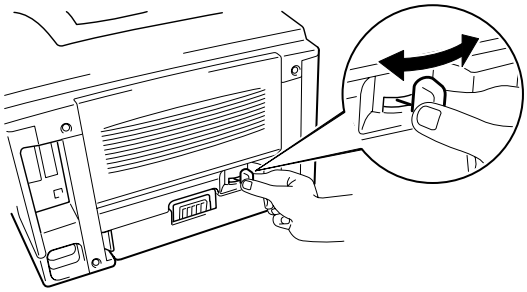


図 6-23

注

- 「カミヅマリ リョウメン」メッセージは、ページの片面の印刷が終わった後で用紙を背面排紙トレイから取り除いた場合に表示されます。
- 両面印刷機能に使用できる用紙サイズは A4、レターとリーガルです。
- 両面印刷用紙サイズレバーが用紙サイズに対して正しく設定されていないと、紙づまりが発生したり、用紙上の印刷位置が狂ってしまう場合があります。



紙づまり

カミヅマリ

紙づまりを解消するために以下の指示に従ってください。

☛ 1.　プリンタから本体用紙カセットを完全に引き出します。

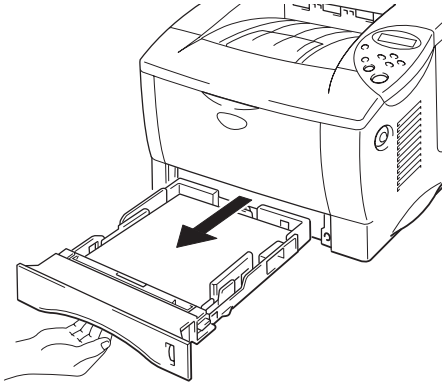


図 6-24

☛ 2.　プリンタからつまった紙を両手でゆっくり引っ張って取り除きます。

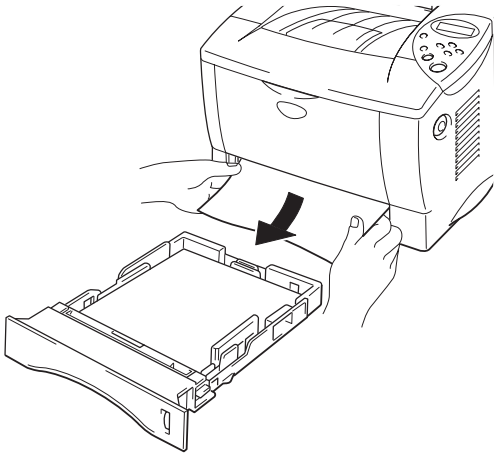


図 6-25

紙づまりが解消できたら、手順10に進みます。紙が引っ張っても取り除けない場合は、手順3に進みます。

☛ *3.* ***カバーオープンボタンを押し、フロントカバーを開きます。***

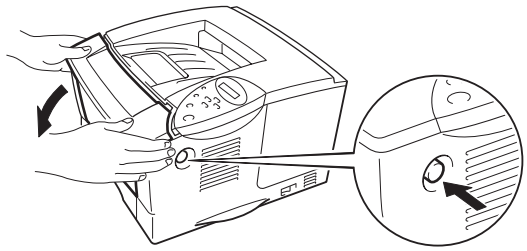


図 6-26

☛ **4.** **ドラムユニットをプリンタから取り出します。 つまった紙を両手でゆっくり引っ張り、プリンタから取り除きます。**

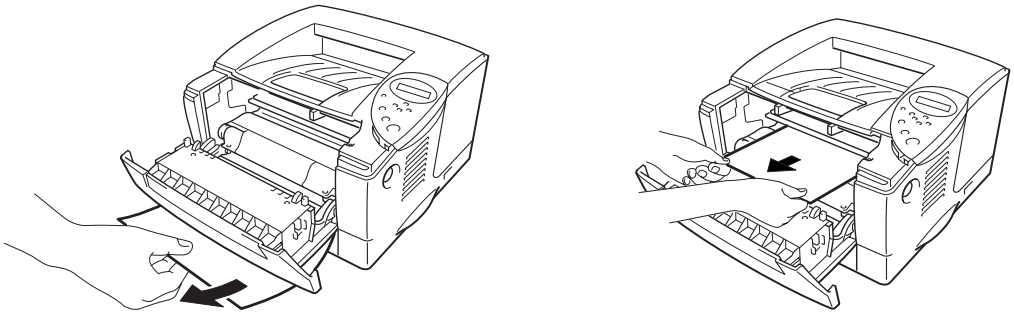


図 6-27

紙づまりが解消できたら、手順8に進みます。紙が引っ張っても取り除けない場合は、手順5に進みます。

☛ **5.** **背面排紙トレイを開きます。**

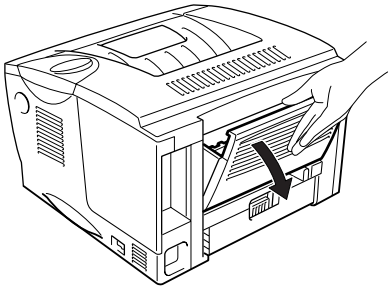


図 6-28

☛ *6.　　**紙づまり除去カバーを開きます。 つまった紙を両手でゆっくり引っ張り出します。***

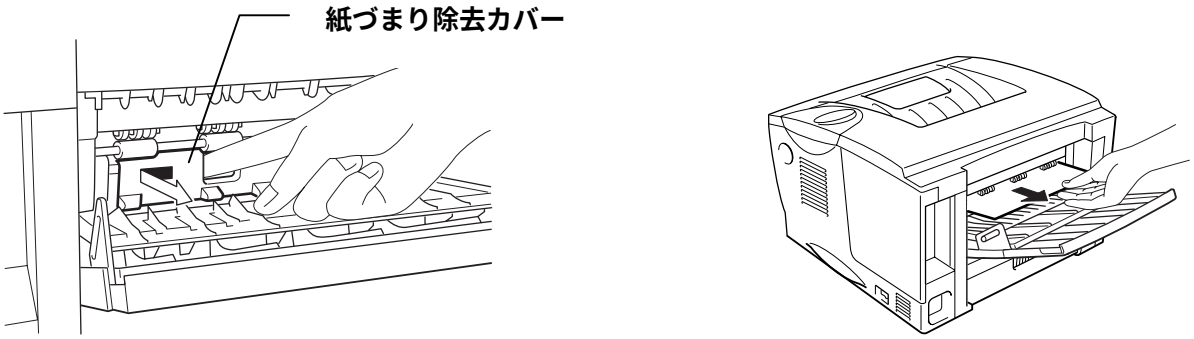


図 6-29

☛ **7.　　紙づまり除去カバーを閉じ、背面排紙トレイを閉じます。**

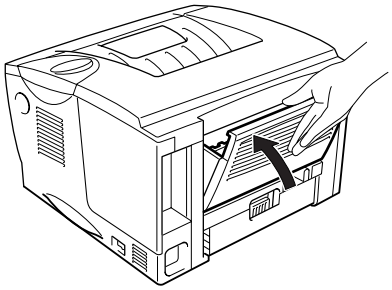


図 6-30

☛ *8.* ***ドラムユニットをプリンタに戻します。***

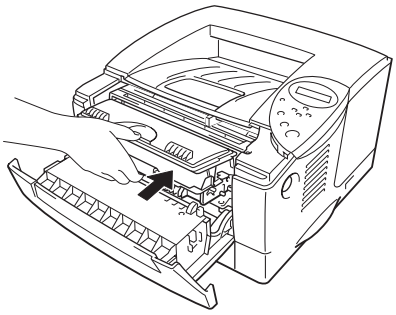
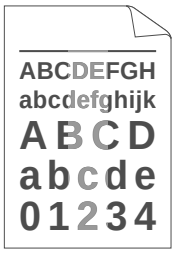
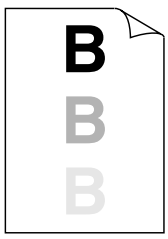


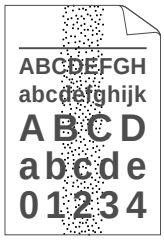
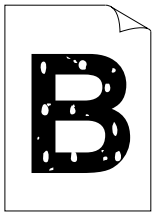
図 6-31

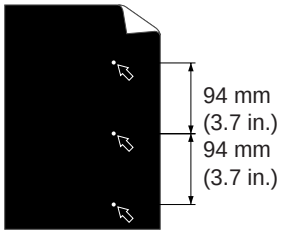
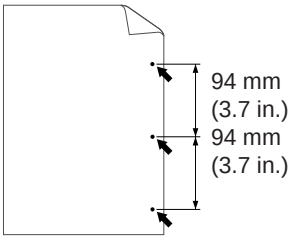
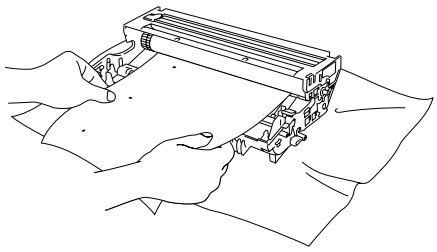
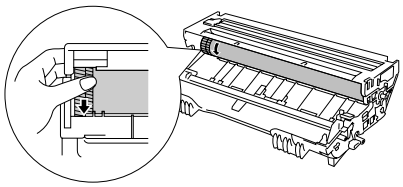
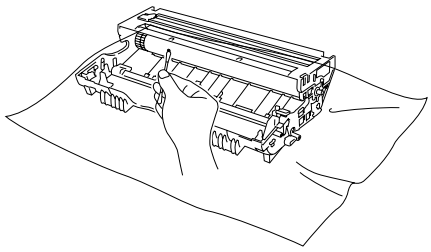
☛ **9.** **フロントカバーを閉じます。**

☛ **10.** **用紙カセットをプリンタに戻します。**

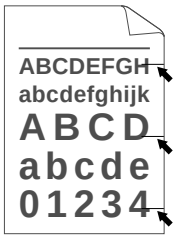
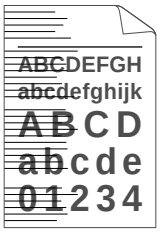
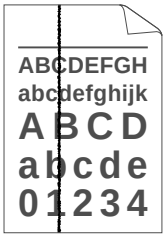
印字品質問題の解決方法

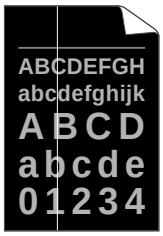
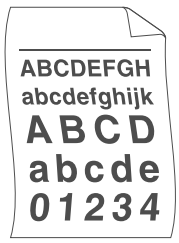
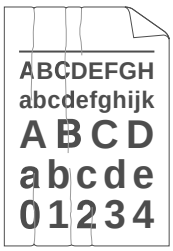
画質不良の例	推奨処置
 印刷が薄い	• プリンタの設置環境をチェックしてください。 湿度、高温などの条件により、この問題が発生する場合があります。 第1章の「プリンタの設置」をご参照ください。 • ページ全体が薄すぎる場合にはトナー節約モードがオンになっている可能性があります。 ドライバのプリンタプロパティタブでトナー節約モードをオフにしてください。 • 新しいトナーカートリッジに交換してください。 第５章の「トナーカートリッジの交換」をご参照ください。 • プリント全体が薄い場合には、スイッチパネルから濃度アップを行うことができます。
 背景が薄い灰色になる	• 使用している用紙が推奨されている用紙仕様に適合していることを確認してください。 第1章の「推奨用紙」をご参照ください。 • プリンタの設置環境をチェックしてください。 高温や高湿度状態などによって灰色の背景色が濃くなる場合があります。 第1章の「プリンタの設置」をご参照ください。 • 新しいトナーカートリッジに交換してください。 第５章の「トナーカートリッジの交換」をご参照ください。
 ゴースト	• 使用している用紙が推奨されている用紙仕様に適合していることを確認してください。 表面が粗い用紙、水分を含んだ用紙、厚い用紙などを使用するとこの問題が発生する場合があります。 第1章の「使用できる用紙について」をご参照ください。 • プリンタドライバの設定で正しい用紙種別が選択されているか確認してください。 第1章の「使用できる用紙について」をご参照ください。 • 新しいトナーカートリッジに交換してください。 第５章の「トナーカートリッジの交換」をご参照ください。

画像不良の実例	推奨処置
 トナーの染み	• 使用している用紙が推奨されている用紙仕様に適合していることを確認してください。表面が粗い用紙を使用するとこの問題が発生する場合があります。 第1章の「使用できる用紙について」をご参照ください。 • ドラムユニットが損傷している可能性があります。 新しいドラムユニットに交換してください。 第５章の「ドラムユニットの交換」をご参照ください。
 印刷の抜け	• 使用している用紙が推奨されている用紙仕様に適合していることを確認してください。 第1章の「使用できる用紙について」をご参照ください。 • プリンタドライバの設定で「厚紙（ハガキ）」または「超厚紙」を選択するか、現在使用している用紙よりも薄い用紙を使用してください。 • プリンタの設置環境をチェックしてください。 高湿度状態などによってこの状態が発生する場合があります。 第1章の「プリンタの設置」をご参照ください。 • 自作のPCをお使いの場合は、この製品でサポートしているOSをご使用ください。自作PCによる印刷はサポートしておりません。
 全面黒ベタ	• ドラムユニットが損傷している可能性があります。 新しいドラムユニットに交換してください。 第５章の「ドラムユニットの交換」をご参照ください。 • ドラム内のワイヤーを清掃してください。 第５章の「ワイヤーのクリーニング」をご参照ください。

画像不良の実例	推奨処置
 **白い点** 印刷したページの黒い文字またはグラフィックス上に94 mm間隔で白い点が生じる。  **黒い点** 印刷したページに94 mm間隔で黒い点が生じる。	• 数ページ印刷した後でも問題が解消しない場合には、ドラムユニットのOPCドラムの表面に付着物がある可能性があります。 以下の手順に従ってドラムユニットのクリーニングを行います。 1. 印刷した用紙をドラムユニットの前に置き、画像不良が発生した正確な位置を確認します。  図 6-31 2. ドラムユニットを手で回しながら、OPC ドラムの表面をチェックします。  図 6-32 3. 付着物を OPC ドラム上で発見したら、OPC ドラムを綿棒で拭いて取り除きます。  図 6-33

画像不良の実例	推奨処置
前ページの続き	**注意** 感光性のドラム表面をボールペンの先のような鋭い物でクリーニングしないでください。 • トナーカートリッジが損傷している可能性があります。 新しいトナーカートリッジに交換してください。 第５章の「トナーカートリッジの交換」をご参照ください。

画像不良の実例	推奨処置
 **一定間隔で現れる横方向の黒い汚れ**	• トナーカートリッジが損傷している可能性があります。 新しいトナーカートリッジに交換してください。 第５章の「トナーカートリッジの交換」をご参照ください。 • 使用している用紙が推奨されている用紙仕様に適合していることを確認してください。 第1章の「使用できる用紙について」をご参照ください。 **注意** • レーザープリンタでラベルシートを印刷すると、シートからはみ出した糊の部分がOPCドラム表面に付着することがあります。 その場合はドラムユニットを清掃してください。 清掃方法については6-25ページをご参照ください。 • クリップやホチキスの付いた用紙は印刷に使用しないでください。 ドラムの表面を傷つけます。 • 開封したままのドラムユニットを強い直射日光や室内光線にさらすと、ドラムユニットは損傷を受けます。
 白い横線	• 使用している用紙が推奨されている用紙仕様に適合していることを確認してください。 表面が粗い用紙、または厚い用紙などを使用するとこの問題が発生する場合があります。 第1章の「使用できる用紙について」をご参照ください。 • プリンタドライバの設定で正しい用紙種別を選択したことを確認してください。 • この現象は印刷を続けると自然に消えることがあります。 とくに、プリンタを長時間にわたって使用していなかったときにこの問題が発生した場合には、複数枚の紙を印刷してみてください。 • トナーカートリッジが損傷している可能性があります。 新しいトナーカートリッジに交換してください。 第５章の「トナーカートリッジの交換」をご参照ください。
 **黒い横線**	• ドラムユニットが損傷している可能性があります。新しいドラムユニットに交換してください。 第５章の「ドラムユニットの交換」をご参照ください。
 **黒い縦線** 印刷ページがトナーで汚れているか、縦線が印刷されます。	• トナーカートリッジが損傷している可能性があります。 新しいトナーカートリッジに交換してください。第５章の「トナーカートリッジの交換」をご参照ください。 • プリンタ内部で破れた紙片がスキャナガラスに付着していないか確認します。 スキャナウィンドウを柔らかい布で拭くことにより、問題を解消できる場合があります。 第５章の「プリンタ内部の清掃」をご参照ください。 • 定着器が汚れている可能性があります。 顧客サポートにご連絡ください。 • ドラム内のワイヤーを清掃してください。 第５章の「ワイヤーのクリーニング」をご参照ください。 • ドラムユニットの青いタブがホームポジション(▼)に戻っているか確認してください。

画像不良の実例	推奨処置
 白い縦線	• スキャナウィンドウを柔らかい布で拭くことにより、問題を解消できる場合があります。 第５章の「プリンタ内部の清掃」をご参照ください。 • トナーカートリッジが損傷している可能性があります。 新しいトナーカートリッジに交換してください。 第５章の「トナーカートリッジの交換」をご参照ください。
 印刷の傾き	• 使用している用紙が推奨されている用紙仕様に適合していることを確認してください。またペーパーガイドが用紙サイズに合っていることことを確認してください。 • 用紙ガイドを正しく設定します。 用紙ガイドのつめが正しくスロットにはまっていることを確認してください。 第1章の「用紙カセットからの印刷」をご参照ください。 • マルチパーパストレイを使用している場合は、第1章の「マルチパーパストレイからの印刷」をご参照ください。 • 用紙カセットに紙が入りすぎている可能性があります。用紙の枚数は、用紙トレイの▼マークを超えないようにしてください。 • 用紙の種類と紙質をチェックしてください。 第1章の「使用できる用紙について」をご参照ください。
 紙の反りや波うち	• 用紙の種類と紙質をチェックしてください。 高温と高湿度が用紙の反りの原因になります。 第1章の「使用できる用紙について」をご参照ください。 • 長期間用紙が用紙カセット内に放置されていた場合は、用紙カセットの中の用紙を表裏を逆にします。または、用紙の方向を前後逆にしてみてください。
 しわ、折れ目	• 用紙が正しくセットされていることを確認してください。 第1章の「用紙カセットからの印刷」をご参照ください。 • 用紙の種類と紙質をチェックしてください。 第1章の「使用できる用紙について」をご参照ください。 • 用紙カセットの中の用紙スタックをひっくり返します。 または、用紙の方向を前後逆にしてみてください。

その他の問題

トラブルの内容	推奨処置
プリンタの電源が入らない	電源コードがきちんとコンセントにささっているか確認して下さい。 コンセントの電圧を確認して下さい。
プリンタが印字しない	LCDに「データムシ」メッセージが表示された場合、以下の作業を行って下さい。 1. プリンタを再起動します。 2. 「エラープリント」をオンにし、再び印刷します。
用紙を給紙しない。	• 用紙カセットに用紙がある場合には、用紙がまっすぐになっているかどうかを確認します。 用紙が反っている場合、用紙をまっすぐにしてセットしなおしてください。 用紙を取り出し、ひっくり返して用紙カセットにセットすると問題が解決する場合もあります。 • トナー切れの可能性があります。トナーを新しいものに交換してください。 • マルチパーパストレイをご使用の場合は、用紙を用紙カセットにセットすると問題が解決する場合もあります。 • 用紙カセットの用紙数を減らし、もう一度印刷してみます。 • コントロールパネル上でテサシ＝オンが選択されていたら、テサシ＝オフにします。
マルチパーパストレイから用紙を給紙しない。	• 用紙をよくさばき、もう一度用紙を確実にセットしてください。 • コントロールパネルでマニュアルフィードがオンに設定されているか確認して下さい。 • プリンタドライバのプロパティで下記の項目がオンに設定されているか確認して下さい。 1. 「スタート」メニューの「設定」から「プリンタ」を選択します。(Windows XPをご使用の場合は「スタート」メニューの「プリンタとFAX」を選択します。) 2. プリンタアイコン(CASIO SPEEDIA CP-B200)を右クリックし、プロパティを開きます。 3. 「基本設定」タブを開き、給紙方法を参照します。 4. MPトレイ（マルチパーパストレイ）を優先に設定します。

トラブルの内容	
封筒を給紙しない。	• 封筒はマルチパーパストレイから給紙してください。 封筒に印刷するためには、使用しているアプリケーションソフトウェアを正しく設定する必要があります。 これは、通常、使用しているソフトウェアのページ設定または文書設定メニュー上で行われます。 アプリケーションソフトウェアの説明書をご参照ください。
紙づまりが発生した。	• 本章の「紙づまりとつまった紙の取り除き方」をご参照ください。 • たびたび紙づまりが起きるときには、ご使用の紙がプリンタに適していない可能性があります。使用できる用紙を確認の上、他のメーカーの用紙を使って試してください。
プリンタが上部排紙トレイへ排紙しない	• 背面排紙トレイを閉じて下さい。
プリンタが背面排紙トレイへ排紙しない。	• 背面排紙トレイを開きます。
印刷ページがカールしているため、背面排紙トレイは規定の枚数を保持できない。	• 用紙カセットにセットされている用紙を取り出し、ひっくり返してセットしなおします。 • ドライバの設定で用紙の種類を「厚紙（ハガキ）」もしくは「超厚紙」に設定してください。
プリンタが指定した用紙に印刷しない。	• ケーブルがプリンタに正しく接続されていることを確認してください。 • 正しいプリンタドライバが選択されているか確認してください。 • トレイの用紙サイズ設定が正しいか確認してください。
印刷時にしわ、折れ目ができる	• プリンタドライバの設定を、OHPに変更します。 • 背面給紙トレイを開け、印刷します。 • 背面給紙トレイを開け、マニュアルフィードから印刷します。 • 新しい用紙でもう一度印刷します。 • 推奨されている別の仕様用紙で印刷します。
印刷時にOHPシートにしわができる	• 住友 3M CG 3300 もしくは同等以上のOHPシートを使用します。 • プリンタドライバでOHPモードを選択します。 • 封筒はマルチパーパストレイから給紙して下さい。第1章の「封筒の印刷」をご参照ください。 • 封筒に印刷するためには、使用しているアプリケーションソフトウェアを正しく設定する必要があります。これは、通常、使用しているソフトウェアのページ設定または文書設定メニュー上で行われます。アプリケーションソフトウェアの説明書をご参照下さい。

トラブルの内容	推奨処置
印刷結果がおかしい	• プリンタケーブルが長すぎないことを確認します。1.8メートルを超えるパラレルケーブルは使用しないでください。 • プリンタケーブルが損傷または断線していないことを確認してください。 • インタフェース切り替え装置を使用している場合には、取り外してケーブルをコンピュータと直接接続して印刷してください。 • 「デフォルト設定」で適切なプリンタドライバが選択されていることを確認してください。 • プリンタが外部記憶装置またはスキャナと同じポートに接続されていないことを確認します。他のすべての装置を取り外し、ポートはプリンタ専用に使用してください。 • プリンタドライバの拡張タブにあるデバイス／オプションメニューのステータスモニターをオフにしてください。
文書の全ページを印刷できない。LCDに「プリントオーバーラン」が表示される。	• Goキーを押して、プリンタに残っているデータを印刷してください。 これでエラーが解消されない場合には、文書のデータサイズを小さくするか、または印刷の解像度を落とします。 • （Windows 95/98/Meプリンタドライバをご使用の場合のみ）下記の設定を、Windowsドライバから変更し、再度実行して下さい。下記設定における最適な連動は、テキストの種類によります。 　• グラフィックスモード 　• TrueType設定
プリンタは文書の全ページを印刷することができない。エラーメッセージの「メモリフル」が表示される。	• Goキーを押して、プリンタに残っているデータを印刷してください。 • 文書のデータサイズを小さくするか、または印刷の解像度を落とします。
画面上で文書を見るとヘッダーやフッターが表示されるが、印刷されない。	• ほとんどのレーザープリンタには印刷不能な領域があります。 通常は用紙の最初の2行分、最後の2行分には印刷することができません（印刷可能な行数は62行）。 文書の上マージンと下マージンはこれをを考慮して指定してください。
プリンタで印刷できない。「LPT1（またはBRUSB）への書き込みエラー」というエラーメッセージがパソコンに表示される。	• プリンタケーブルが損傷または断線していないことを確認してください。 • インタフェース切り替え装置を使用している場合には、取り外してケーブルをコンピュータと直接接続して印刷してください。

付録

プリンタ仕様

エンジン		
テクノロジー		乾式電子写真方式
印刷速度	通常	最大 18 ppm（A4）
	両面印刷	最大 8.5 ppm（A4）
ファーストプリントタイム		15 秒[*1] 以下
ウォームアップタイム		25 秒[*2] 以下
解像度	Windows® 95 / 98/ Me、Windows NT® 4.0、Windows ® 2000 および Windows ® XP	1200dpi 600 dpi 300 dpi

コントローラ		
プロセッサ		富士通 MB86834 100MHz
メモリ	標準	16 MB
インタフェース	標準	IEEE 1284 パラレル、USB
	オプション	10/100BASE-TX (CP-LA200)
ネットワーク接続性	インタフェース	10/100BASE-TX (CP-B200 用オプション)
	プロトコル	TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI、DLC/LLC
	管理ツール	BRAdmin Professional[*3]、ウェブベース管理[*4]

ソフトウェア		
プリンタドライバ		Windows® 95 / 98 / Me、Windows NT® 4.0、Windows® 2000、Windows® XP 用ドライバ
コントロールパネル		
ディスプレイ	LCD	1 行 16 桁、3 色バックライト
	LED	1 LED
ボタン	7 個	Go、Job Cancel、Reprint、Set、Back、+、−

プリンタドライバ機能		
ページレイアウト	N-アップ印刷	2、4、9、16、25 ページを 1 ページに印刷
	ポスター印刷	1 ページを 4、9、16、25 ページに分割印刷
	ウォーターマーク印刷	あり
冊子印刷		あり
その他		クイックプリントセットアップ機能*5
補充品		
トナー		6,500 A4/LTR ページ @5%印刷面積比
ドラム		20,000 A4/LTR ページ（1 ページ／ジョブ）
サイズ／重量		
サイズ（W×D×H）		425×424×275 mm
重量		約 14.5 kg（消耗品を含む）

その他			
消費電力	印刷時	410 W 以下	
	スタンバイ時	50 W 以下	
	スリープ時	12 W 以下	
ノイズレベル	印刷時	50 dB 以下	
	スタンバイ時	30 dB 以下	
エコロジー対策	インテリジェントスリープ機能		あり
	トナー節約機能		あり

*1　標準用紙カセットからの場合

*2　23 °C 条件下

*3　ネットワーク管理用オリジナル・Windows ®ユーティリティ

*4　ウェブブラウザ経由のプリンタおよびネットワーク管理

*5　プロパティを開かずにドライバ設定を変更できるプリンタドライバ機能

お問い合わせ先

どうしても操作がわからない、解決できない状態に陥った…というときは、お客様担当の営業マンが対応いたします

お問い合わせの際は、次の点についてお知らせください。

- ご氏名
- ご連絡先の電話番号
- プリンタの機種名
- プリンタのシリアル No.
- 接続パソコン名称、ご使用のソフトウェアの名称およびバージョン
- 機器構成（プリンタ切り替え機など）
- 現在どういう状態か
- どのような操作を行ったか
- プリンタの設定状態は（表示パネルの表示等）

さらに必要な場合

- 印字サンプル
- ステータスシート（プリンタ情報印字）
- HEX ダンプ

インターネット・インフォメーション
各種ドライバ類・製品情報などを提供しております。 http://www.casio.co.jp/ppr/

お問い合わせ窓口

製品の取り扱い方法・ソフト上のお問い合わせ

ご購入された販売店または担当営業にご連絡ください。

製品の機能設定方法およびソフト的障害に関するお問い合わせ

テクニカルインフォメーションセンター
TEL 03-5334-4557 受付時間は AM10:00～11:55、PM1:00～5:00。 土、日、祝日（社内規定休日）は休み。

製品の機能設定方法およびソフト的傷害に関するお問い合わせ

カシオテクノ・コールセンター
市内通話料でOK ナビダイヤル 0570-03306 市内通話料金でご利用いただけます。 受付時間　月曜日～土曜日　AM9:00～12:00、PM1:00～5:30 (日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く) ※携帯電話・PHS 等をご利用の場合は 03-5294-7022 まで

修理以外の設置依頼等はお近くのサービスステーションにご依頼ください。

カシオテクノ・サービスステーション

受付時間は AM9:00～PM5:30。日、祝日は休み。

拠点名	電話番号	郵便番号	所在地	管轄区域
札　幌	011-281-1251	060-0063	札幌市中央区南 3 条西 10-1001-5 福山南 3 条ビル	北海道
盛　岡	019-646-3395	020-0125	盛岡市上堂 2-3-6	青森県　岩手県 秋田県
仙　台	022-293-0419	983-0852	仙台市宮城野区榴岡 5-1-35	宮城県　福島県　山形県
高　崎	0273-23-5000	370-0054	高崎市新町 67-1	群馬県
水　戸	029-225-6472	310-0803	水戸市城南 3-10-17	茨城県
宇都宮	028-623-5503	320-0053	宇都宮市戸祭町 3009-8	栃木県
新　潟	025-287-1152	950-0925	新潟市弁天橋通り 3-9-12	新潟県
長　野	026-222-6895	380-0911	長野市大字稲葉宇日詰 1592-1	長野県
埼　玉	048-642-7234	330-0843	さいたま市吉敷町 1-89 タカラビル 1F	埼玉県
東　京	03-5294-7022	101-0021	千代田区外神田 2-2-18	東京都 23 区
横　浜	045-441-2177	221-0052	横浜市神奈川区栄町 3-12 ヨコハマツインビル 2F	神奈川県
千　葉	043-243-1081	260-0022	千葉市中央区神明町 13-4	千葉県
名古屋	052-324-2165	460-0024	名古屋市中区正木 3-9-27NFC 金山ビル 2F	愛知県　高山を除く 岐阜県　三重県
金　沢	076-224-0061	920-0064	金沢市南新保町ト 52	石川県　福井県　富山県　岐阜県高山
静　岡	054-281-8085	422-8056	静岡市津島町 16-23	静岡県
大　阪	06-6243-6213	541-0056	大阪市中央区久太郎町 3-6-8 御堂筋ダイワビル 7F	大阪府　奈良県　和歌山県
神　戸	078-392-3500	650-0032	神戸市中央区伊藤町 119	兵庫県
京　都	075-351-1161	600-8107	京都市下京区五条通知新町東入東錺屋町 186 ヤサカ五条ビル 2F	京都府　滋賀県
広　島	082-230-5900	733-0001	広島市西区大芝 2-14-10	広島県　島根県　鳥取県米子　山口県

岡　山	086-244-3404	700-0926	岡山市西古松西町 9-1	岡山県　米子を除く鳥取県
高　松	087-837-7641	760-0078	高松市今里町 2-21	香川県　徳島県　高知県　愛媛県
福　岡	092-413-6008	812-0007	福岡市博多区東比恵 2-16-23	福岡県　佐賀県　長崎県　大分県　沖縄県
熊　本	096-367-0614	862-0911	熊本市健軍 1-38-7	熊本県
鹿児島	099-256-3573	890-0065	鹿児島市郡元 1-1-3	鹿児島県　宮崎県

保証について

❖　6 ヶ月サービス無償保証とお願い

お客様へのお願い

万一の故障に関しまして、その対応をスムーズに実施するために、弊社ではお買いあげいただいたお客様の登録をさせていただいております。
大変お手数とは存じますが、ご協力の程、お願い申し上げます。

① プリンタに同梱してあります「お客様登録カード」に必要事項をご記入の上、必ず設置時に投函をお願いいたします。
② カードが弊社着信しだい「お客様登録」を実施し、弊社サービス部門より「保証書」を送付いたします。

保証書はプリンタご購入以後６ヶ月間、万一の故障に際し無償にて修理をさせていただくためのものです。保証書は再発行されませんので、大切に保管していただき、修理の際にご提示願います。
当保証書がない場合は、手続き中を除き有償修理とさせていただきますのでご了承ください。また、保証および保守・サービス・各問い合わせ窓口でのサポートは、本製品を日本国内でご使用になる場合に限らせていただきますのでご了承願います。

保証規定

本機は高度な電子技術と機械技術（メカトロニクス）および万全の品質管理の下で造られた製品です。
通常のご使用において、万一故障が生じた場合は、お買いあげの日より６ヶ月間無償修理いたします。
次の場合は無償保証期間内でも有償となり、修理に要した実費を申し受けますのでご了承ください。

① 誤用・乱用による故障や取り扱い不注意による故障および損傷。
② 火災・天才などの災害による故障および損傷。
③ 外装を開けた場合、不適当な修理や改造およびトナー、ドラムの消耗品の改造に起因する故障および損傷。
④ 接続している他の機器に起因する故障および損傷。
⑤ ご使用中に、外装・操作パネル等に生じたキズなどの外観上の変化。
⑥ 移動および運搬によって生じた故障および損傷。
⑦ 「保証書」の提示がない場合、および本証に必要事項（お買い上げ日など）の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
⑧ 用紙、ドラムトナーセットなどの消耗品、および定期交換部品。

・無償保証期間経過後の修理は、実費にて申し受けます。
修理内容などの記録は、修理伝票にかえさせていただきます。「保証書」は保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものであり、保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保守契約制度がありますので、カシオテクノ・コールセンターにお申し込みください。
ご不明な点などありましたら、お客さまのご相談窓口としてカシオテクノ・コールセンター（付録-6）をご利用ください。

規格

国際エネルギースタープログラム

この制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むために、エネルギー消費の少ない効率的な製品を、開発・普及させることを目的としています。当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

VCCI 規格

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接してしようされると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

レーザーに関する安全性

本製品は、米国において、保健および安全に関する放射線規制法（1968 年制定）に従った米国厚生省（DHHS）施行基準で、クラス I レーザー製品であることが証明されており、危険なレーザー放射のないことが確認されています。
製品内部で発生する放射は保護ケースと外側カバーによって完全に保護されており、ユーザが操作しているときに、レーザー光が製品から漏れることはありません。

警告

（本書で指示されている以外の）機器の分解や改造はしないでください。レーザー光線への被ばくや、レーザー光漏れによる失明のおそれがあります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

電源高調波

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

瞬時電圧低下耐力について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し、不都合が生じることがあります。

索引

+

+ / - キー 3-10

A

AC インレット 1-4

B

Back キー 3-11
BRAdmin Professional 2-13

G

Go キー 3-3

H

HP LASERJET 3-21

J

Job Cancel キー 3-3

L

LCD 3-14
LED 3-13

M

Menu キー 3-10
MP トレイ 1-3, 1-7

O

OHP 用紙 1-7, 1-24

R

Reprint キー 3-4

S

Set キー 3-10

U

USB ポート 1-4

い

インタフェース ..... 3-24, 付録 2
インタフェースカバー 1-4
インフォメーションモード 3-17

う

ウォーターマーク 2-5, 2-8
ウォームアップタイム ..... 付録 1

え

エラーメッセージ 6-1

お

オプションタグ 2-12

か

ガシツモード 3-18
カバーオープンボタン 1-3

く

クイックプリントセットアップ 2-9
グラフィックス 2-6

こ

コマンド/ファイルの追加 2-9
コントロールパネル 1-3, 3-16

さ

サービスコールメッセージ 6-5
サポートタブ 2-11

し

ジョブキャンセル 3-3

す

スキャナガラス 5-14
ステータスモニタ 2-9
スリープまでの時間 2-9

せ

セキュリティデータ 3-7

そ

その他特殊機能 2-9

と

トナー 節約 3-18
トナーカートリッジ 5-1
トナー節約モード 2-6
ドラムユニット 5-7
トレイ 1 1-7

ね

ネットワークプリントソフトウェア 2-13
ネットワークボード 4-2
ネットワークモード 3-23

は

はがき 1-7
バックライト 3-14
パネルキー 3-1
パラレルインタフェース 1-2
パラレルポート 1-4

ふ

プリンタドライバ . . . . . 2-1, 付録 3
フロントカバー 1-3

へ

ページプロテクト 2-9
ページ設定 2-8

ま

マクロ設定 2-9
マルチパーパストレイ 1-7
マルチパーパストレイサポート 1-3

よ

ヨウシモード 3-18

ら

ラベル 1-7
ラベル紙 1-24

り

リーガル 1-13
リセットメニューモード 3-24
リプリント 3-19
リョウメンインサツ 3-18

わ

ワイヤーのクリーニング 5-16

漢字

印刷ジョブのスプーリング 2-10
印刷ジョブのスプール 2-9
印字品質問題の解決方法 6-23
解像度 . . . . . 2-6, 3-18, 付録 1
拡張機能タブ 2-5
基板プレート 1-4
基本設定タブ 2-4
給紙方法の設定 2-12
厚紙 1-7
再印刷 3-4
再生紙 1-7
自動インタフェース選択 2-14
自動検知ボタン 2-12
小冊子印刷 2-7
上部排紙トレイ 1-3
推奨用紙 1-9
電源スイッチ 1-4
同梱物 1-1
日付・時間を印刷する 2-9
濃度調整 2-9
排紙フラップ 1-3
背面排紙トレイ 1-4, 1-18
普通紙 1-7
封筒 1-7, 1-20
保守メッセージ 6-4
本体用紙トレイ 1-7
本体用紙カセット 1-3
用紙 3-20
用紙の種類 1-7
両面印刷 1-7, 1-29
両面印刷ユニット 1-4
両面印刷用紙サイズレバー 1-4, 1-30, 1-33

カシオ計算機株式会社
システム営業統轄部　ページプリンタ企画促進課

〒151-8543　　東京都渋谷区本町 1－6－2
電話 03-5334-4552

ページプリンタ営業部	電話 03-5334-4550
西日本営業部	電話 06-6243-2100
中部営業部	電話 052-324-2135
カシオ情報機器　北海道支社	電話 011-221-7891
カシオ情報機器　東北支社	電話 022-718-0650
カシオ情報機器　中国支社	電話 082-239-1500
カシオ情報機器　四国支社	電話 087-862-8822
カシオ情報機器　九州支社	電話 092-475-3939
ﾃｸﾆｶﾙ・ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ・ｾﾝﾀｰ	電話 03-5334-4557

インターネット・ホームページ　　http://www.casio.co.jp/ppr/

SPEEDIA CP-B200

ハードウェアマニュアル

2002 年 7 月 23 日　第 1 版発行
カシオ計算機株式会社
カシオ電子工業株式会社

＊本装置は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によって異なります。本装置および関連消耗品などをこれらの規制に違反して諸外国に持ち込むと罰則が課されることがあります。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

© CASIO COMPUTER CO., LTD.
© CASIO ELECTRONICS MANUFACTURING CO.,LTD.